

1 近畿農業の概況

(1) 近畿の農林水産業・食品製造業の位置づけ

① はじめに

近畿地域は、古来から政治や文化等の中心地として栄え、全国各地から様々な食材等が集まるとともに、その土地の気候風土の影響を受けて、伝統的な野菜も多く栽培され、地域色豊かな食文化がはぐくまれています。

滋賀県では、水稻を中心に麦・大豆等を組み合わせた水田農業が主体で、化学合成農薬と化学肥料の使用量を通常より削減し、環境に配慮した「環境こだわり農業」に取り組み、水稻、茶、近江牛等が生産されています。

京都府では、中山間地域での水稻や野菜、茶等が生産され、安心・安全と環境に配慮した生産方法に取り組み、品質を厳選したものを「京のブランド産品」として認証し、京みず菜等の京野菜や京たんご梨など31品目が認証されています。

大阪府では、葉物野菜、たまねぎ、水なす等の野菜、ぶどう等の果樹を中心とした都市近郊農業が行われており、しゅんぎく、こまつな等の葉物野菜が全国有数の産地となっています。

兵庫県では、北部の但馬地域では但馬牛、播磨地域では酒米、丹波地域では黒大豆やくり、温暖な気候を利用した淡路地域ではたまねぎやレタス、カーネーションなど、全国的にも有名な農畜産物が生産されています。

奈良県では、京阪神の大消費地に近いという立地条件を活かして、北部の大和平野地域では米を中心に野菜や花き、北東部の大和高原地域では茶、畜産、花き、北西部の丘陵地帯ではきく、南部の五條・吉野地域ではかきやうめなどの果樹栽培が盛んです。

和歌山県では、海岸性の温暖な気候と、大消費地に近いという立地条件を活かし、みかん、うめ、かき等の果樹を中心に、野菜、花きの栽培が盛んであり、特に果樹は、供給基地として重要な地位を占め、県の農業産出額の約7割を占めています。



近江牛



京野菜



水なす



ぶどう



たまねぎ



レタス



みかん

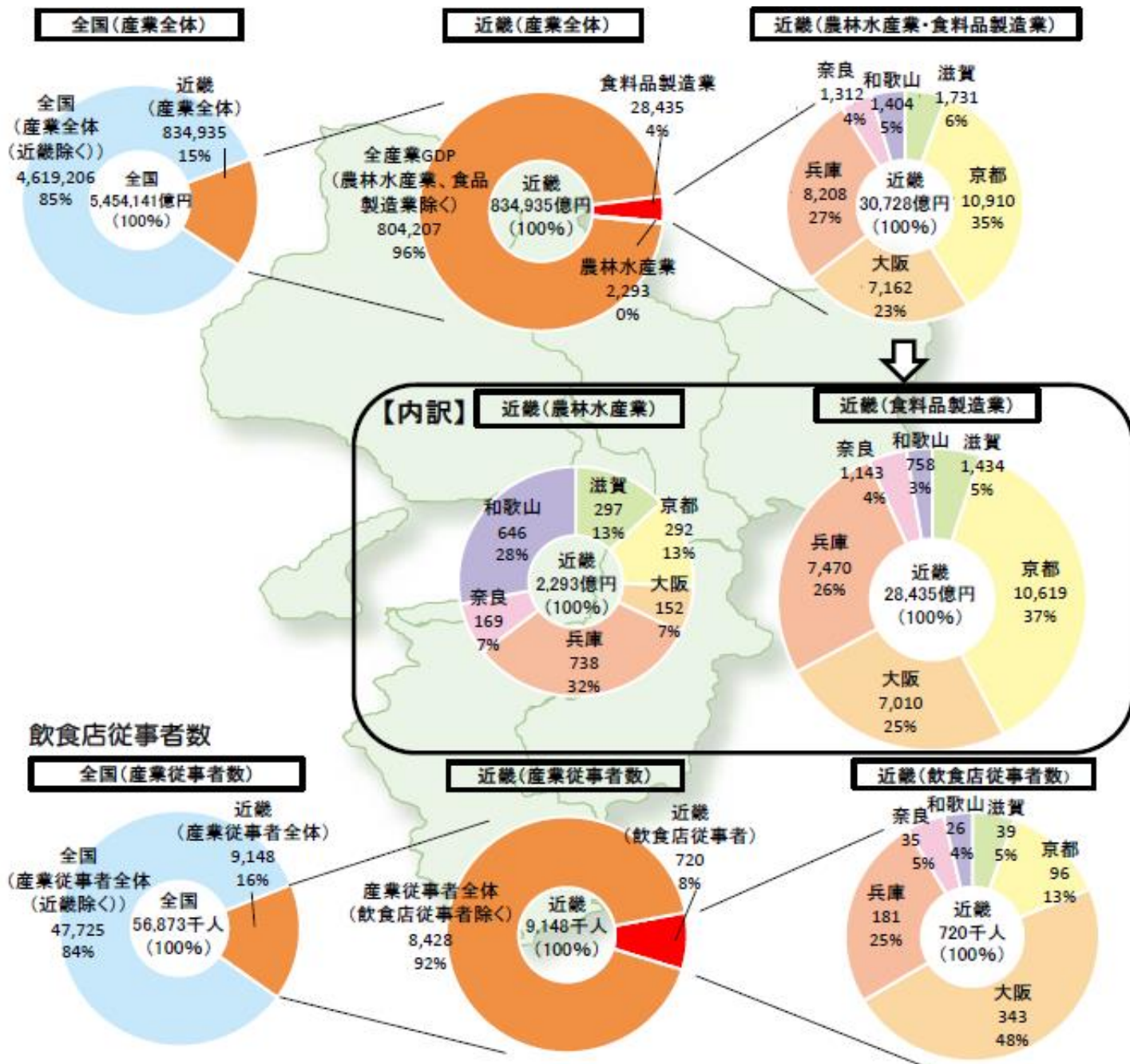


うめ

② 近畿地域の農林水産業等GDP、飲食店従事者数の割合

- 近畿の産業全体のGDPは約83兆円で、全国の15%。このうち、農林水産業・食料品製造業のGDPは約3兆円で、近畿産業全体の4%。
- 近畿の農林水産業のGDPは約2千億円で兵庫(32%)、和歌山(28%)が上位を占めている。一方、食料品製造業のGDPは約3兆円で京都(37%)、兵庫(26%)、大阪(25%)が上位を占め、3府県で約9割を占めている。
- 近畿の産業従事者は約9百万人で、全国の16%。このうち飲食店従事者は約72万人で、近畿産業従事者全体の8%。

農林水産業・食料品製造業(GDP)

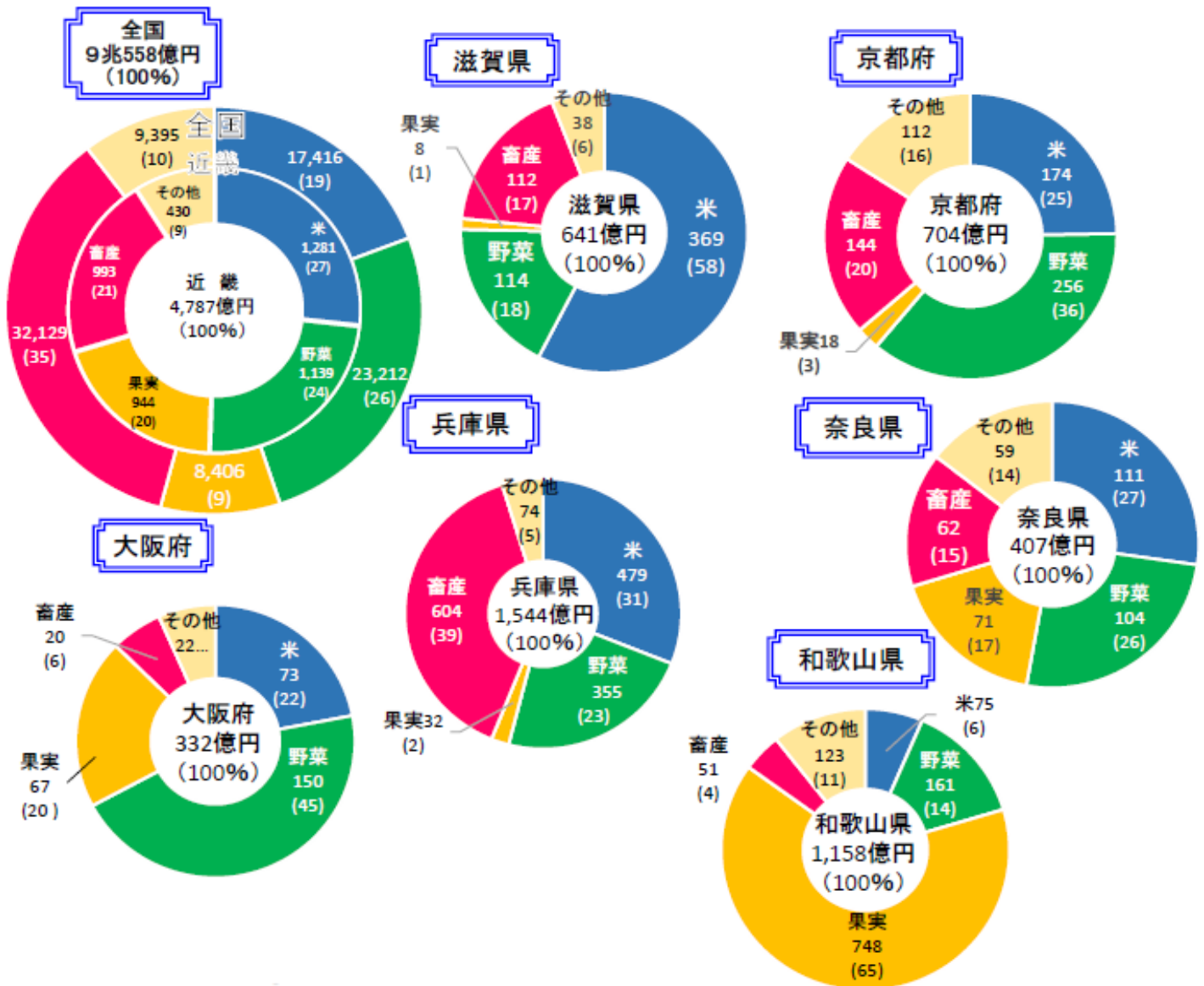


注:「平成28年県民経済計算」(内閣府)、「平成29年県民経済計算」(内閣府)、「2,018経済センサス」(総務省、経産省)を基に近畿農政局作成。

各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

③ 近畿農業の概況

- 近畿の農業は、農地面積、農業産出額で全国の約5%。農家数では約10%のシェア。地域の特色を活かし、各府県で多様な農業を展開。
- 近畿の農業産出額は4,787億円で、畜産の産出額が大きい兵庫県が1,544億円で最も多く、次いで果樹王国の和歌山県が1,158億円。
- 農業構造は小規模で兼業農家が多い一方、滋賀県、兵庫県では水田地帯を中心に集落営農を展開。
- 水田農業では、滋賀県で麦・大豆作のブロックローテーションによる集団転作、兵庫県では酒米も生産。
- 野菜では、京野菜、大和野菜などの伝統野菜が盛ん。
- 畜産では素牛となる但馬牛（たじまうし）、ブランド牛である神戸ビーフ、近江牛（おうみぎゅう）を生産。
- 果樹は、和歌山県、奈良県で盛ん。みかん、かき、うめは和歌山県が全国生産量1位。
- 地域資源を活用した農産物直売所や6次産業化の取組も多く、神戸ビーフやお茶をはじめとした農林水産物・食品の輸出が増加。



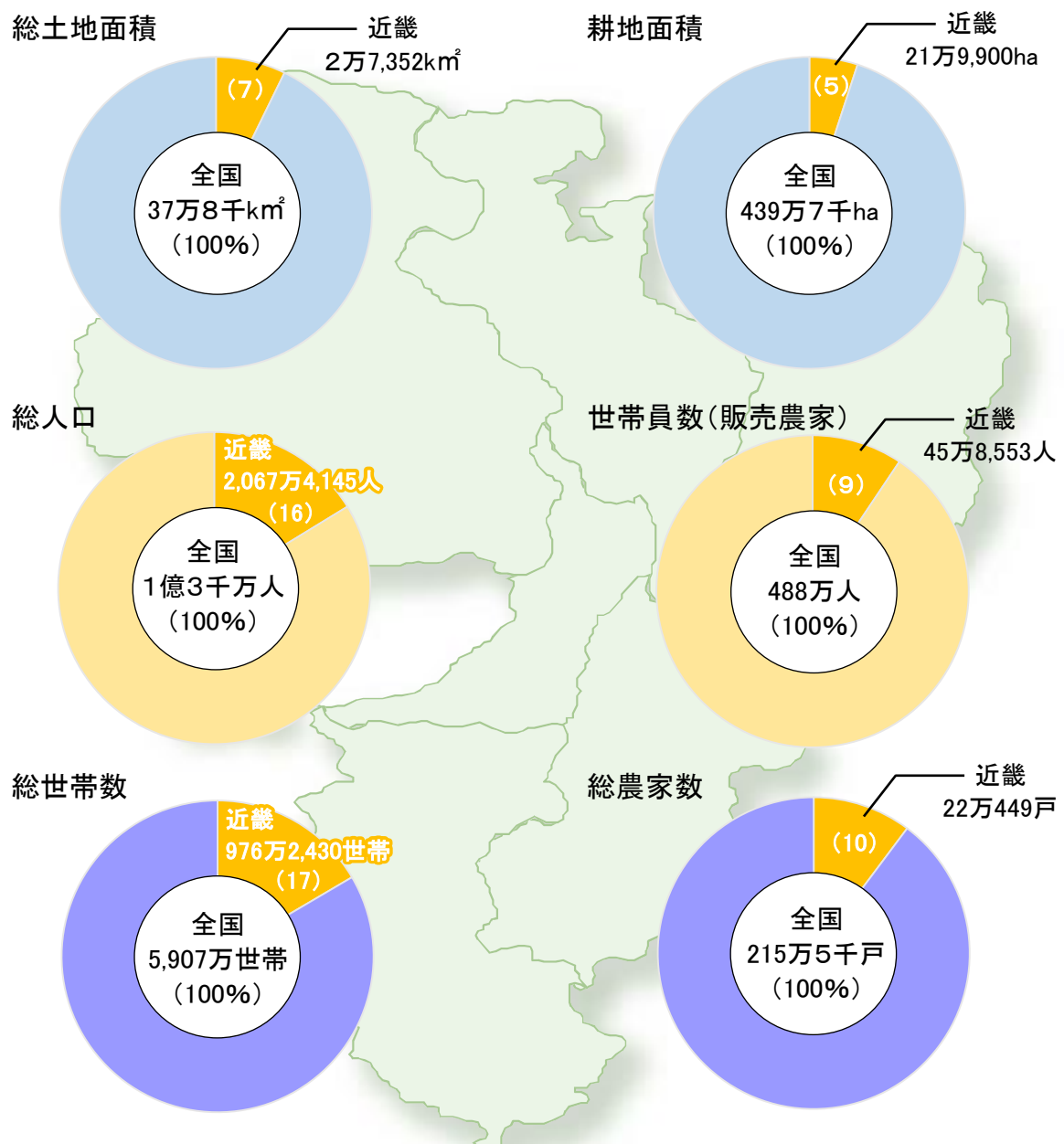
注：1グラフは平成30年生産農業所得統計の数値であり、全国は農業総産出額、近畿及び各府県は農業産出額。
2グラフのその他は合計からその他以外を差し引き算出した値である。

2 近畿農業のすがた

(1) 近畿地域のあらまし

- 農林水産統計の地理的区分上、近畿地域は、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の6府県。
- 管内の総土地面積は2万7,352km²（全国の7％）。
- 耕地面積は21万9,900ha（全国の5％）。
- 総人口は2,067万4,145人（全国の16％）。
- 世帯員数（販売農家）は45万8,553人（全国の9％）。
- 総世帯数は976万2,430世帯（全国の17％）。

近畿地域の全国に占める割合

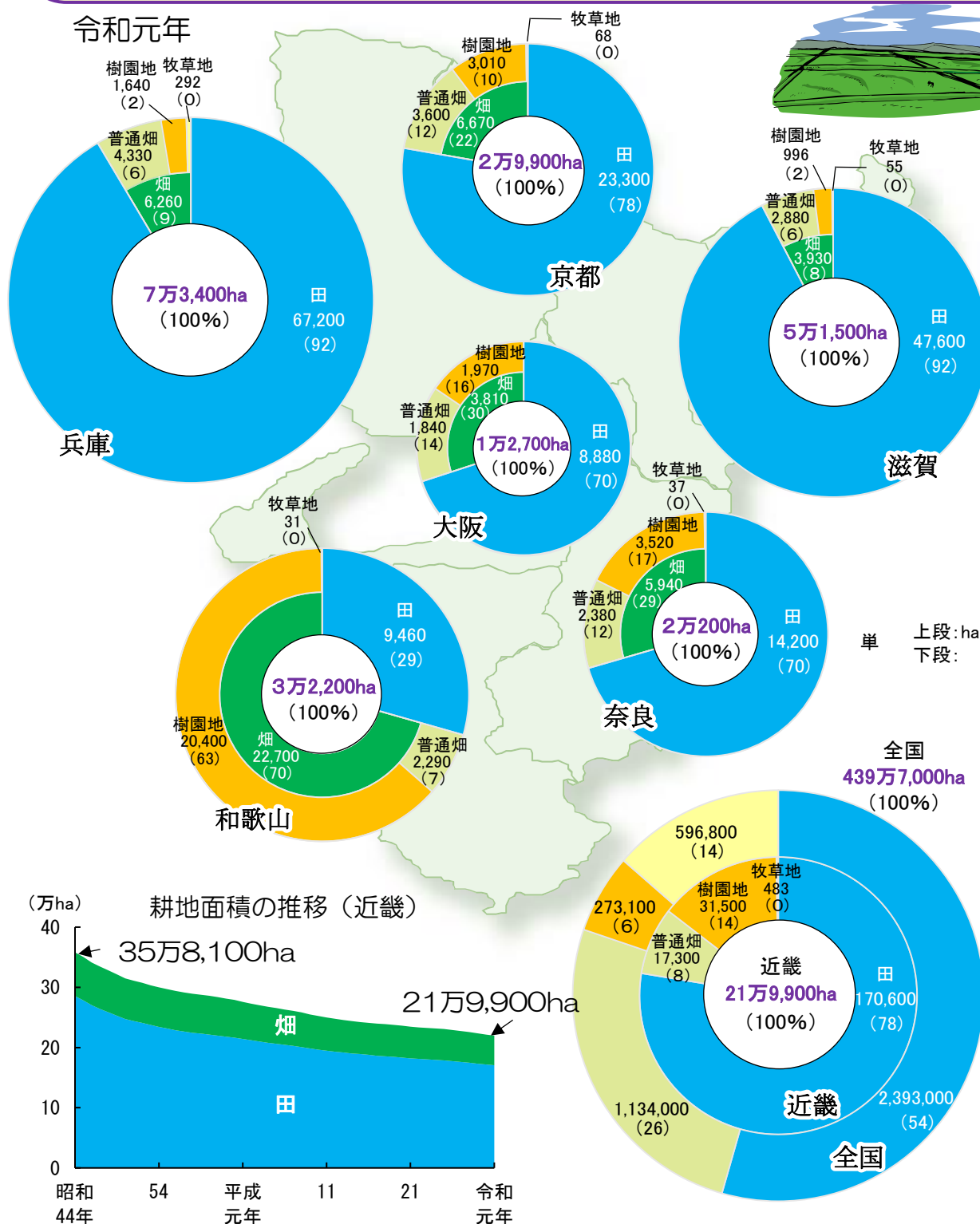


資料：国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」（令和2年10月1日現在）
総務省「住民基本台帳に基づく都道府県別の人口及び世帯数（総計）」（令和2年1月1日現在）
農林水産省「耕地及び作付面積統計」（令和元年7月15日現在）
「2015年農林業センサス」（平成27年2月1日現在）

(2) 耕地面積

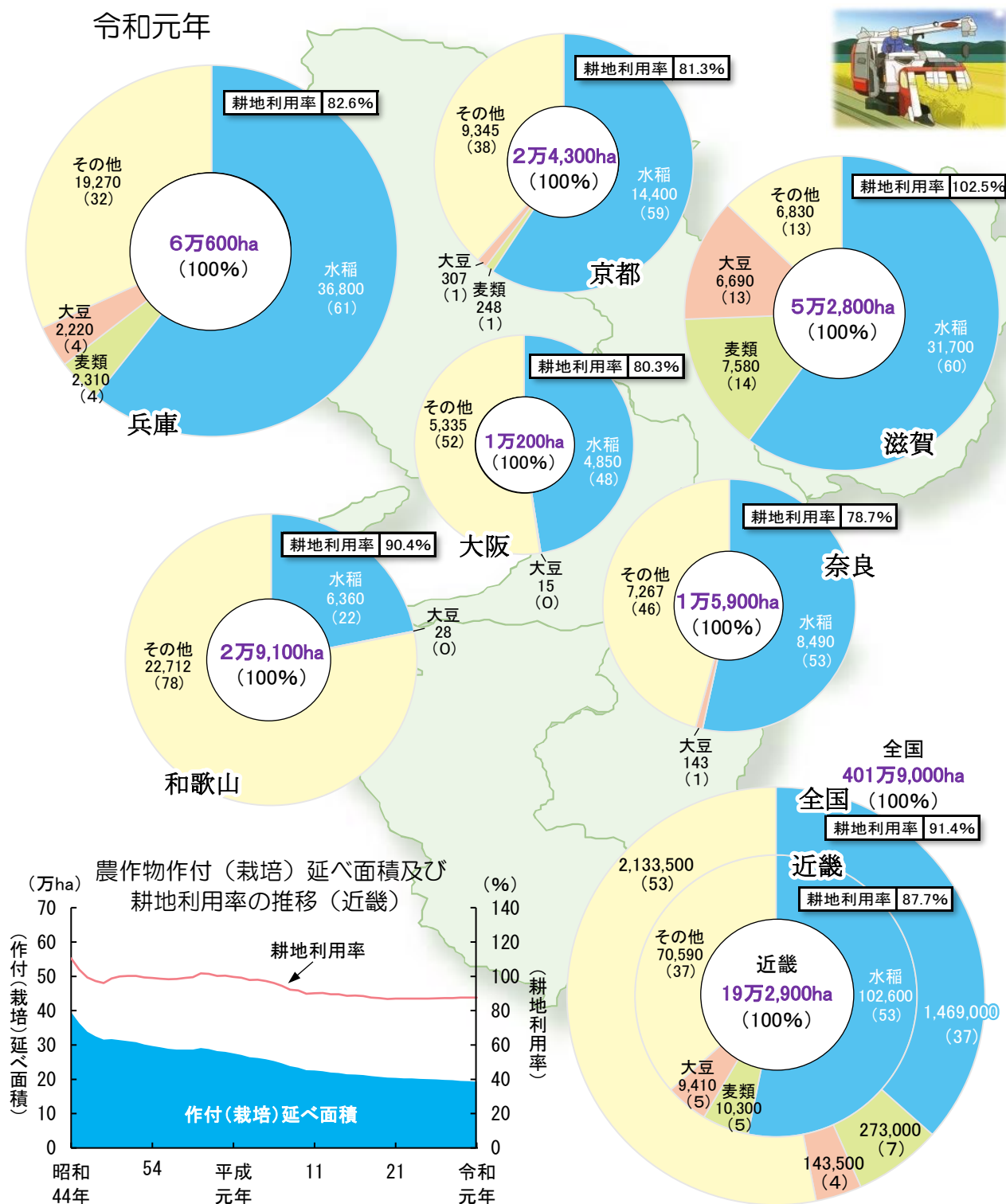
－ 78%と高い近畿の水田率（全国は54%） －

- 耕地面積は兵庫、滋賀で近畿の5割以上。
- 水田率（耕地に占める田の割合）は滋賀（全国第2位）、兵庫（同3位）でともに90%超。
- 和歌山の樹園地の割合は63%で全国第1位（全国は6%）。
- 耕地面積は50年で35万8,100haから21万9,900haに（4割）減少、うち田の減少が11万4,900ha。



(3) 農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率

- 近畿の作付（栽培）延べ面積は19万2,900haで、耕地利用率は87.7% —
- 近畿の作付（栽培）延べ面積に占める作物別の割合は、水稻53%が最も高く、全国に比べて16ポイント高い。
- 滋賀の耕地利用率は102.5%と高く、他府県は全国よりも低い。
- 耕地利用率は長期的には緩やかな低下傾向にあるが、近年は横ばい。

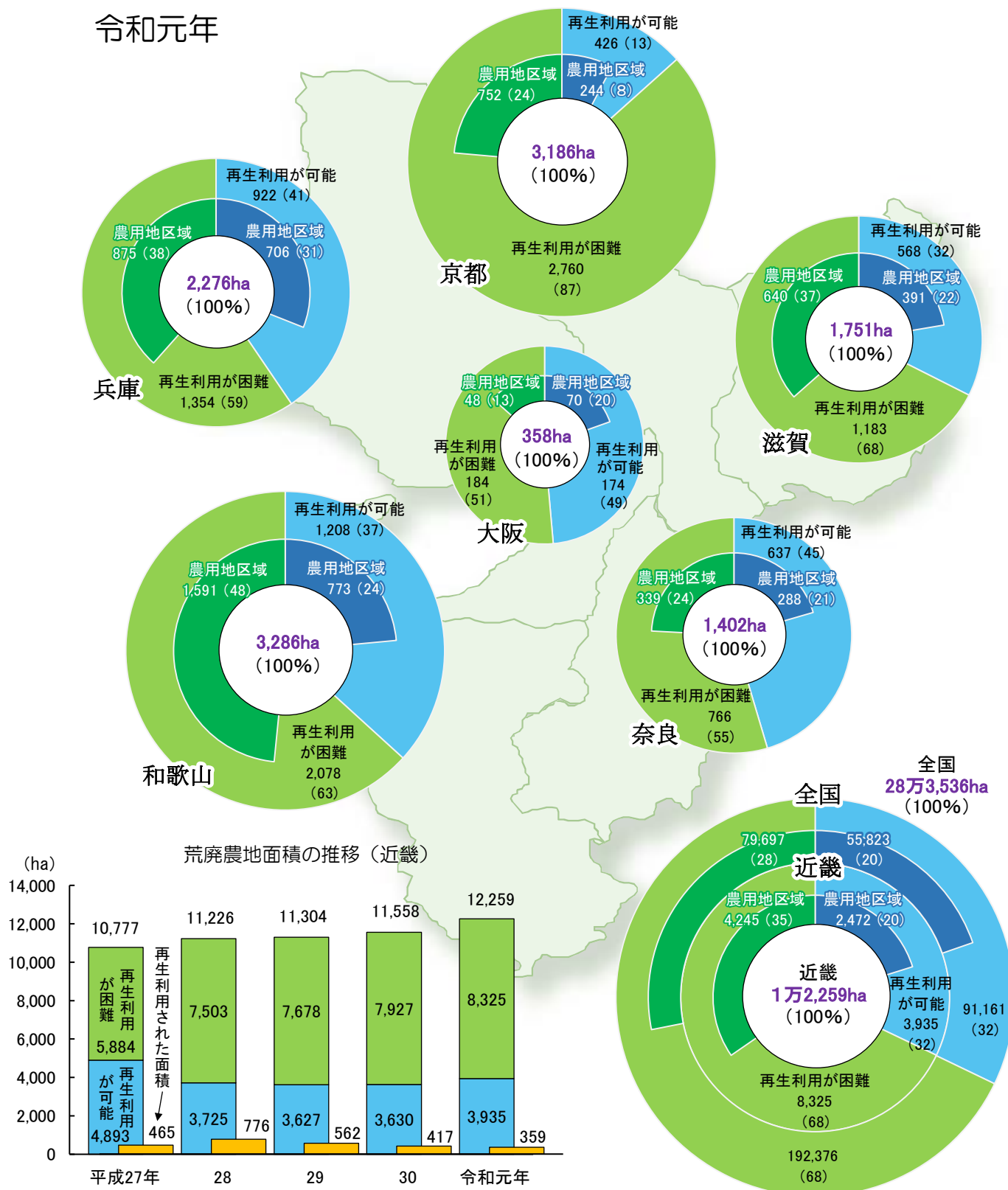


(4) 荒廃農地

－ 近畿の荒廃農地面積は1万2,259ha －

- 近畿の荒廃農地面積のうち再生利用が可能な荒廃農地は32%。
- 京都府、兵庫県、和歌山県の3県で近畿の荒廃農地面積の約7割。
- 荒廃農地面積は増加傾向、一方、再生利用された面積は減少傾向。

令和元年



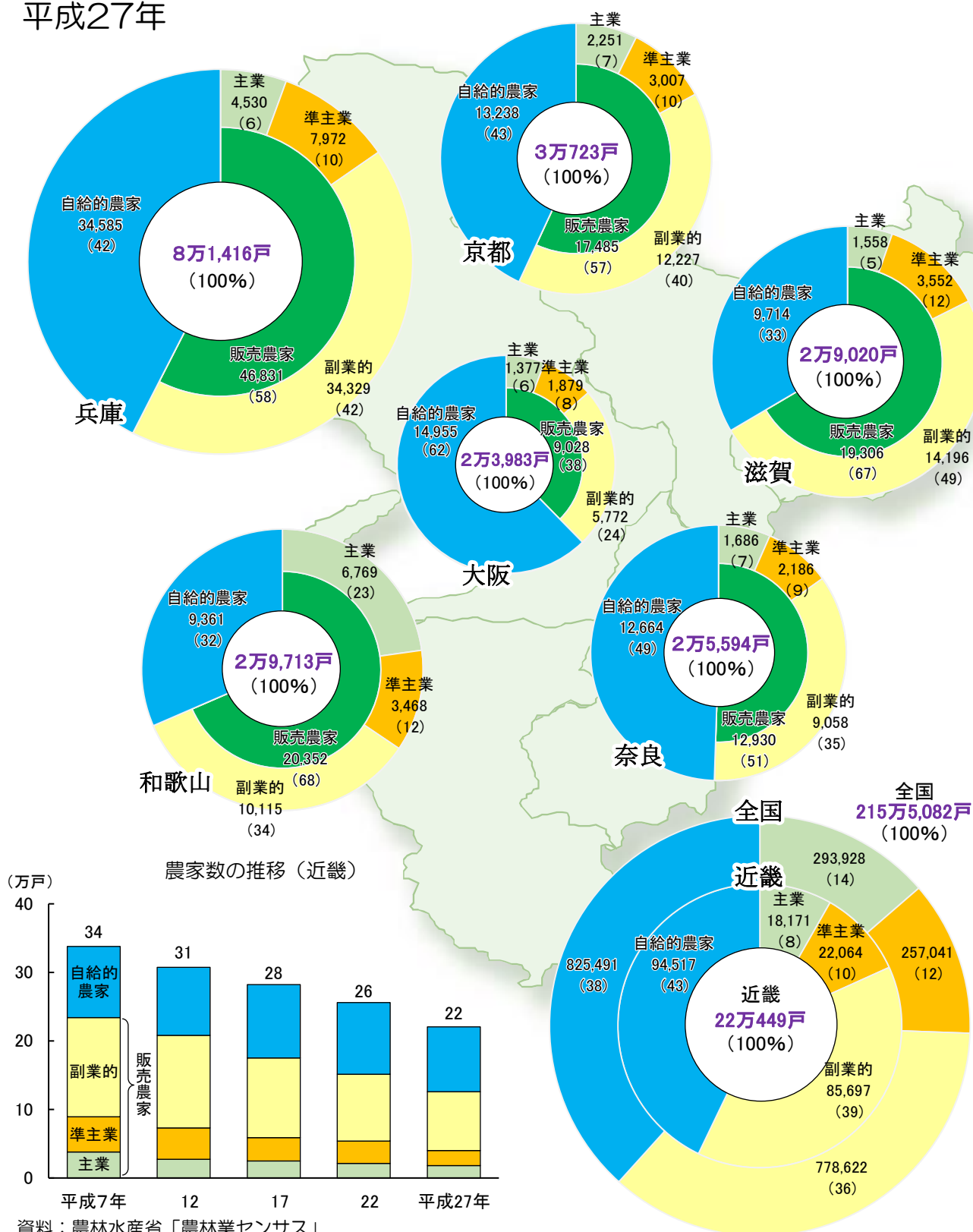
資料：農林水産省「都道府県別の荒廃農地面積」

(5) 農家数

－ 自給的農家、副業的農家の割合が高い －

- 近畿の総農家に占める自給的農家の割合は43%（全国は38%）。
- 副業的農家は39%（同36%）。
- 和歌山県は、主業農家の割合が高い（23%）。（近畿は8%）。

平成27年

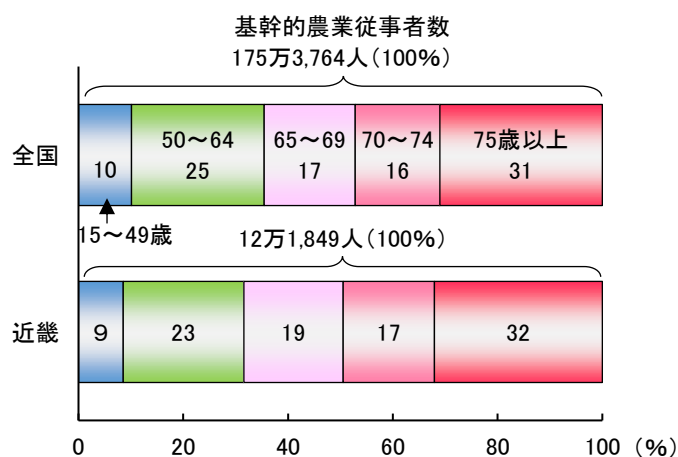


(6) 農業労働力

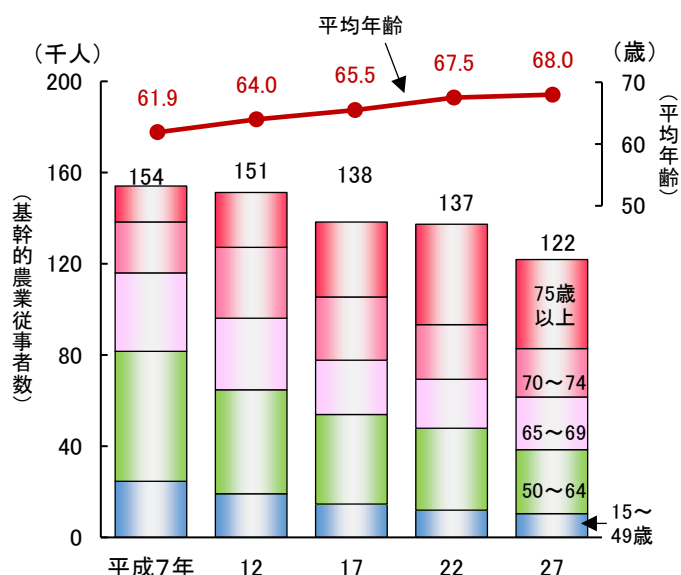
— 近畿の基幹的農業従事者数は12万1,849人 —

- 高齢化が進み平成27年の平均年齢は68.0歳。
- 組織経営体の雇用延べ人日は、5年間で46%増加。

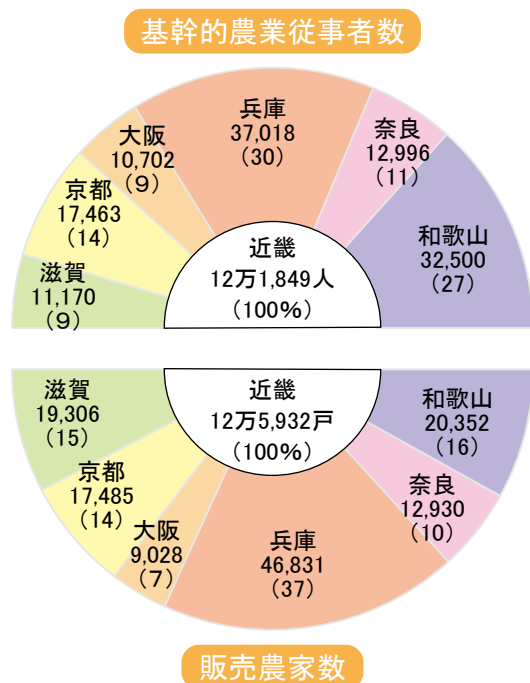
年齢別基幹的農業従事者数割合（販売農家）
（全国及び近畿）（平成27年）



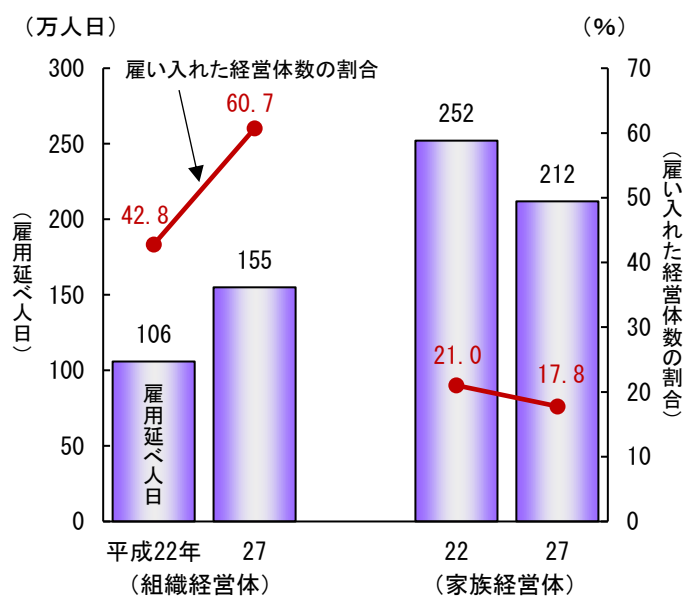
年齢別基幹的農業従事者数及び平均年齢
（販売農家）の推移（近畿）



府県別の基幹的農業従事者数割合（販売農家）
及び販売農家数割合（平成27年）



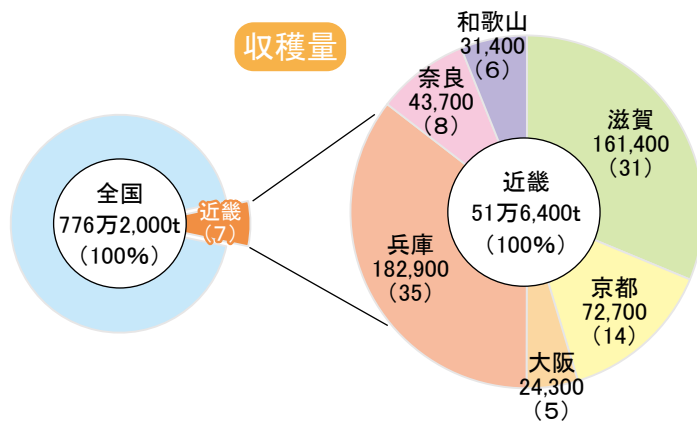
雇用延べ人日及び雇い入れた経営体数割合
の推移（近畿）



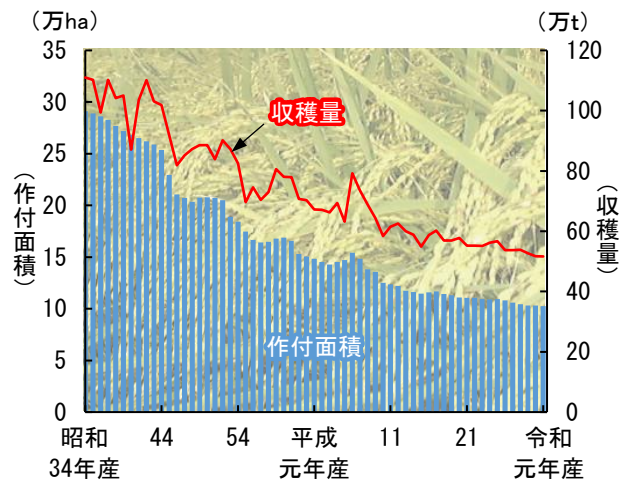
注：雇用労働力は、「常雇い」と「臨時雇い」の合計である。

(7) 主な農作物

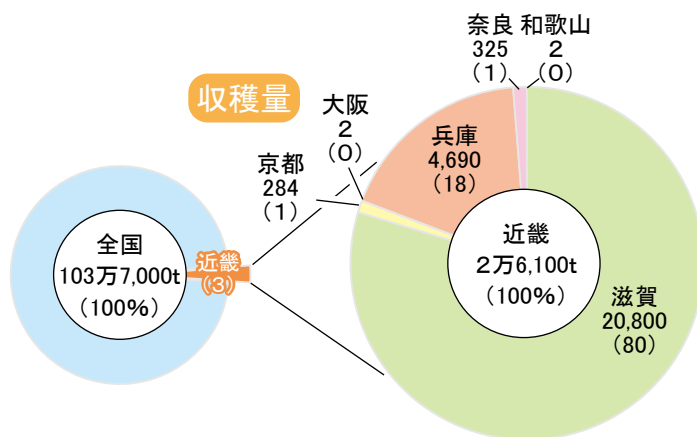
① 水稻（令和元年産）



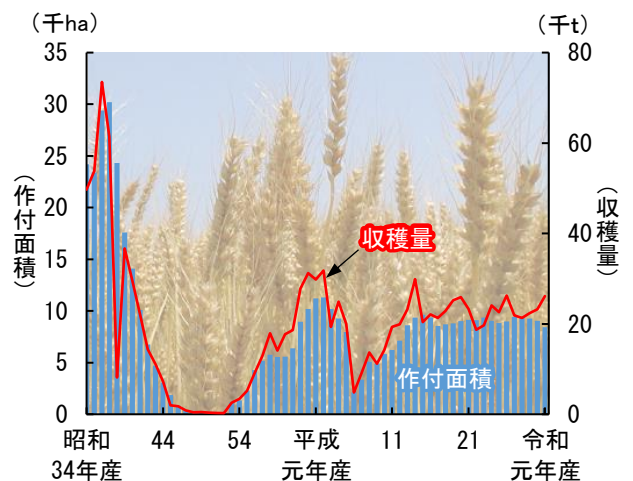
水稻の作付面積及び収穫量の推移（近畿）



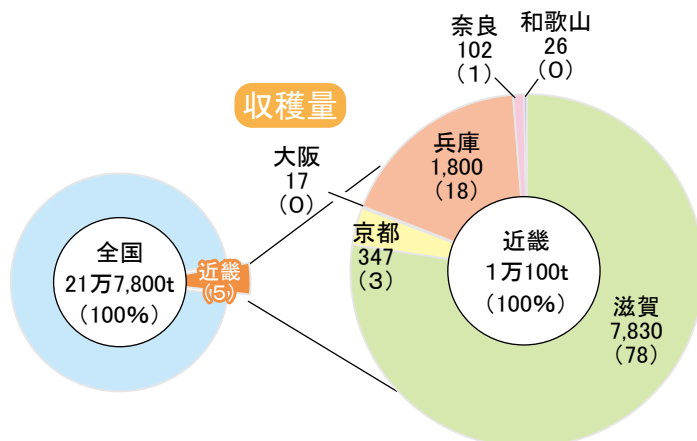
② 小麦（令和元年産）



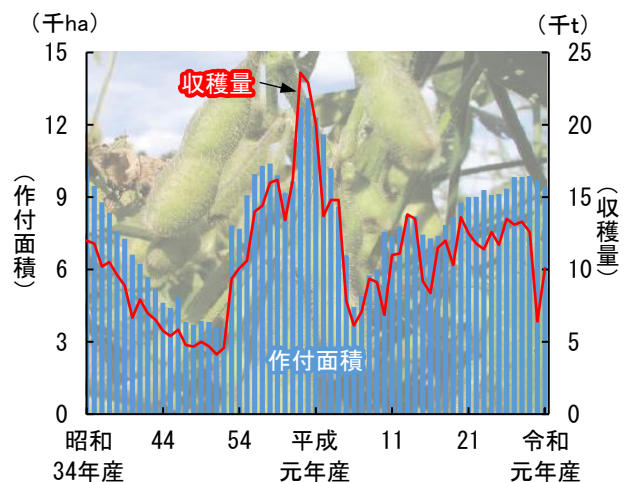
小麦の作付面積及び収穫量の推移（近畿）



③ 大豆（令和元年産）



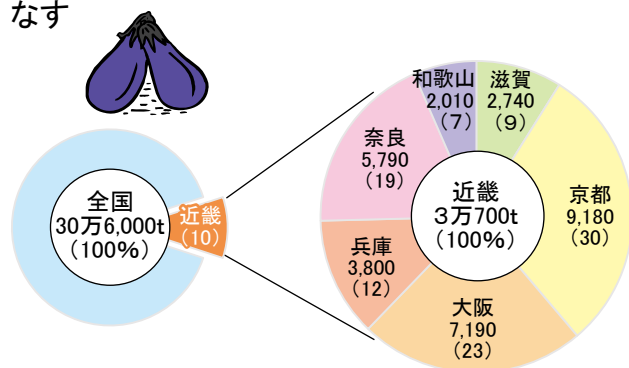
大豆の作付面積及び収穫量の推移（近畿）



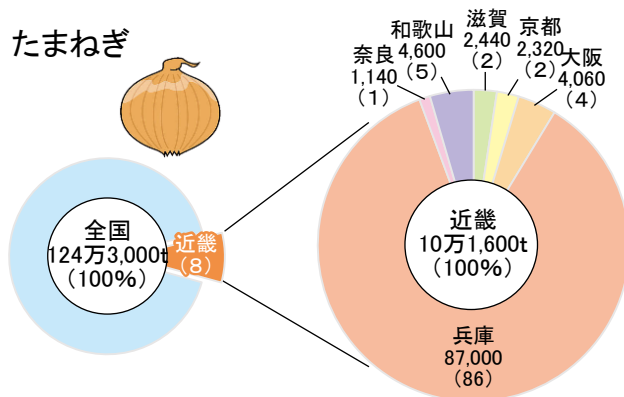
④ 野菜（平成28年産・全国調査年）

○ 主な指定野菜の収穫量

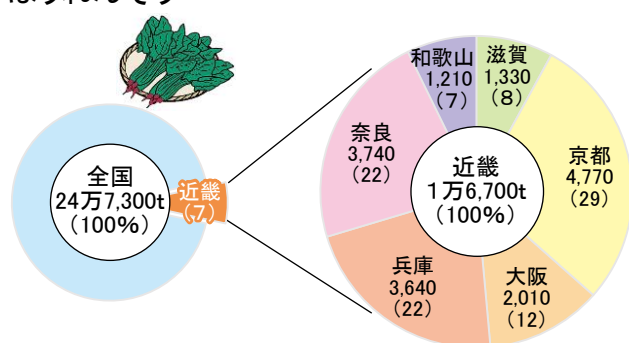
なす



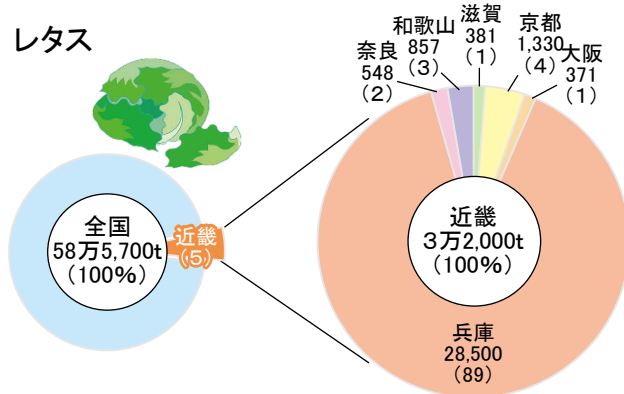
たまねぎ



ほうれんそう

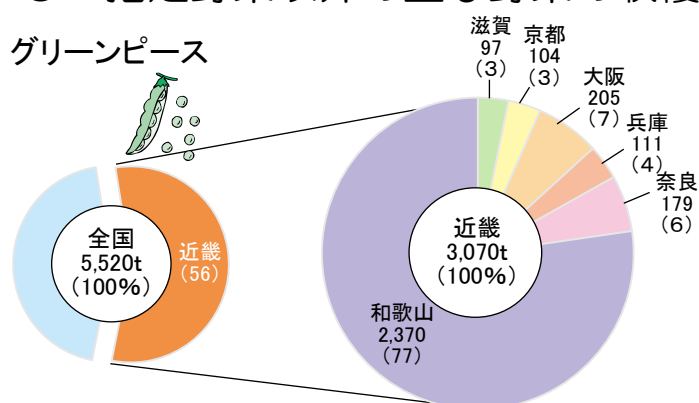


レタス

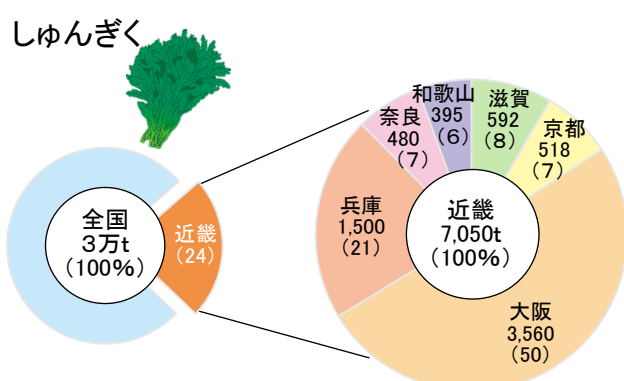


○ 指定野菜以外の主な野菜の収穫量

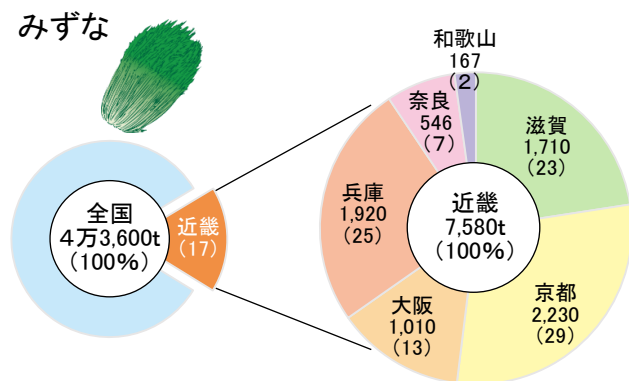
グリーンピース



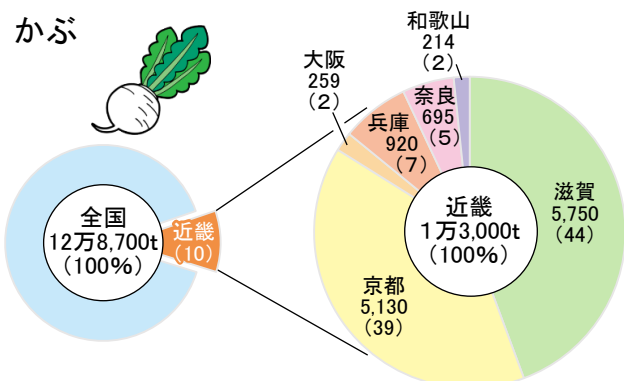
しゅんぎく



みずな



かぶ



資料：平成28年産野菜生産出荷統計

注：表記した品目は、全国の収穫量に占める近畿の収穫量の割合が高いものである。

○ 主な指定野菜（令和元年産・主産県調査年）

なす

全国順位 (収穫量)	都道府県	作付面積	収穫量
		ha	t
1	高知	324	40,800
2	熊本	425	35,300
3	群馬	530	26,500
4	福岡	235	18,500
5	茨城	434	15,900
9	京都	179	8,290
11	大阪	98	6,580
17	奈良	92	5,190
24	兵庫	185	3,380
29	滋賀	148	2,550
...	和歌山	52	...

たまねぎ

全国順位 (収穫量)	都道府県	作付面積	収穫量
		ha	t
1	北海道	14,600	842,400
2	佐賀	2,310	138,100
3	兵庫	1,680	100,100
4	長崎	880	35,200
5	愛知	548	27,700
19	和歌山	119	5,130
21	大阪	113	4,090
...	滋賀	108	...
...	京都	120	...
...	奈良	52	...

ほうれんそう

全国順位 (収穫量)	都道府県	作付面積	収穫量
		ha	t
1	埼玉	2,010	23,900
2	群馬	1,890	20,200
3	千葉	1,910	18,800
4	茨城	1,240	16,100
5	宮崎	1,000	16,100
11	京都	329	5,170
16	兵庫	276	3,730
20	奈良	292	3,360
28	滋賀	106	1,230
29	和歌山	79	980
...	大阪	140	...

レタス

全国順位 (収穫量)	都道府県	作付面積	収穫量
		ha	t
1	長野	6,040	197,800
2	茨城	3,460	86,400
3	群馬	1,340	51,500
4	長崎	953	36,000
5	兵庫	1,220	30,100
24	奈良	29	533
25	大阪	17	389
...	滋賀	21	...
...	京都	95	...
...	和歌山	43	...

○ 指定野菜以外の主な野菜

グリーンピース

全国順位 (収穫量)	都道府県	作付面積	収穫量
		ha	t
1	和歌山	234	2,690
2	鹿児島	102	918
3	北海道	52	339
4	熊本	22	257
5	大阪	35	207
8	奈良	24	137
9	兵庫	23	123
11	滋賀	15	93
...	京都	15	...

しゅんぎく

全国順位 (収穫量)	都道府県	作付面積	収穫量
		ha	t
1	大阪	187	3,140
2	千葉	162	2,790
3	群馬	115	2,380
4	茨城	116	2,130
5	福岡	156	2,090
6	兵庫	110	1,410
13	滋賀	40	536
14	京都	32	525
15	奈良	30	414
19	和歌山	18	292

みずな

全国順位 (収穫量)	都道府県	作付面積	収穫量
		ha	t
1	茨城	1,010	22,800
2	福岡	223	3,390
3	京都	147	2,370
4	兵庫	113	1,930
5	埼玉	130	1,590
6	滋賀	103	1,470
7	大阪	45	986
13	奈良	32	464
...	和歌山	10	...

かぶ

全国順位 (収穫量)	都道府県	作付面積	収穫量
		ha	t
1	千葉	904	30,400
2	埼玉	416	16,200
3	青森	189	7,140
4	滋賀	177	4,990
5	京都	164	4,900
...	大阪	8	...
...	兵庫	44	...
...	奈良	20	...
...	和歌山	10	...

資料：令和元年産野菜生産出荷統計

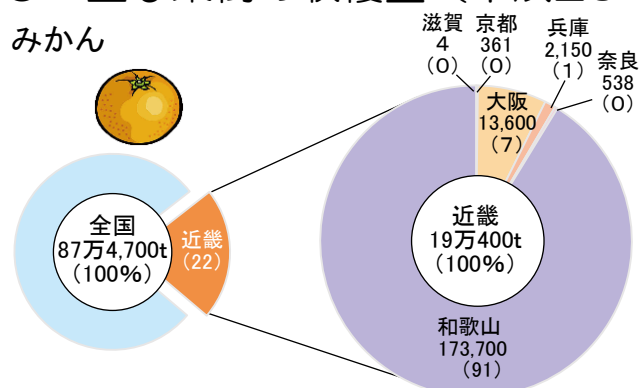
注：1 主産県とは、調査対象品目ごとに全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県、野菜指定産地に指定された区域を含む都道府県、畑作物共済事業を実施する都道府県又は特定野菜等供給産地育成価格差補給事業を実施する都道府県をいう。

2 令和元年産については、作付面積調査は全国、収穫量調査は主産県を調査の対象としている。順位は調査該当都道府県に限られる順位である。

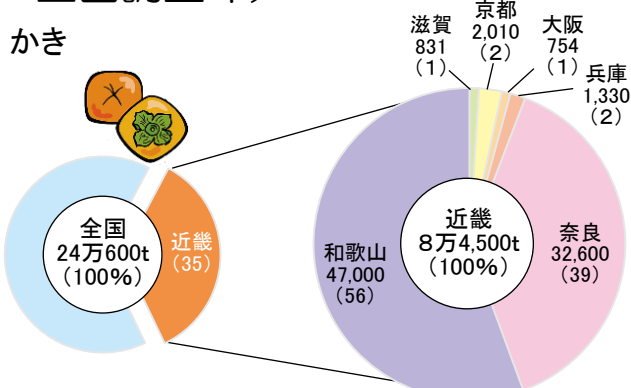
⑤ 果樹

○ 主な果樹の収穫量（平成26年産・全国調査年）

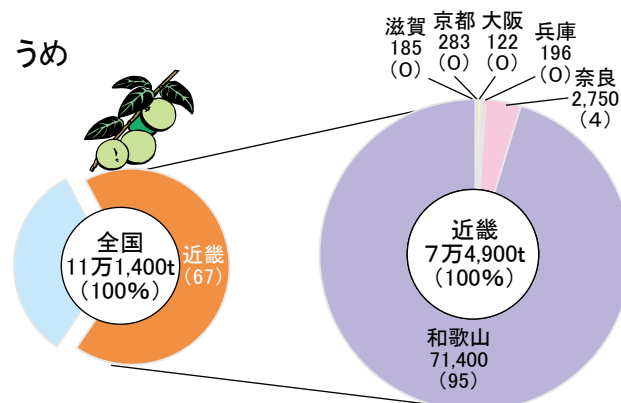
みかん



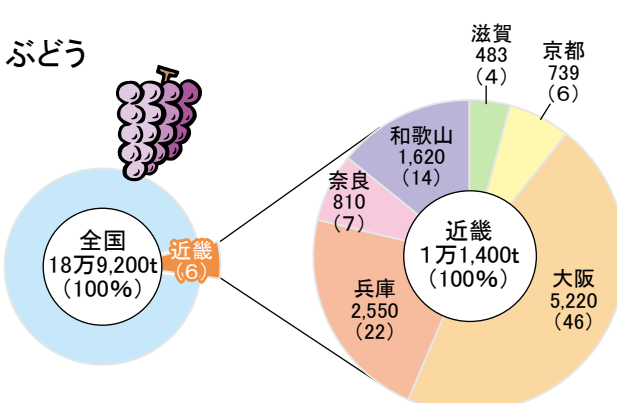
かき



うめ



ぶどう



資料：平成26年産果樹生産出荷統計

注：1 果樹は、6年ごとに全国調査を実施しており、中間年は主産県調査により実施している。グラフには直近の全国調査年である平成26年産の数値を用いた。

2 表記した品目は、全国の収穫量に占める近畿の収穫量の割合が高いものである。

○ 主な果樹（令和元年産・主産県調査年）

みかん

全国順位 (収穫量)	都道府県	結果樹面積 ha	収穫量 t
1	和歌山	6,900	156,600
2	愛媛	5,550	125,400
3	静岡県	5,080	85,900
4	熊本	3,720	80,700
5	長崎	2,840	54,000
13	大阪	696	12,400
20	兵庫	163	2,150
...	滋賀	...	...
...	京都	...	...
...	奈良	...	...

かき

全国順位 (収穫量)	都道府県	結果樹面積 ha	収穫量 t
1	和歌山	2,510	43,400
2	奈良	1,790	31,300
3	福岡	1,220	16,600
4	岐阜	1,230	14,300
5	愛知	1,070	10,500
...	滋賀	...	...
...	京都	...	...
...	大阪	...	...
...	兵庫	...	...

うめ

全国順位 (収穫量)	都道府県	結果樹面積 ha	収穫量 t
1	和歌山	4,960	57,500
2	群馬	929	4,240
3	三重	242	1,600
4	宮城	390	1,370
5	神奈川	358	1,310
6	奈良	285	1,210
...	滋賀	...	...
...	京都	...	...
...	大阪	...	...
...	兵庫	...	...

ぶどう

全国順位 (収穫量)	都道府県	結果樹面積 ha	収穫量 t
1	山梨	3,780	36,900
2	長野	2,280	31,700
3	山形	1,480	16,400
4	岡山	1,130	15,800
5	福岡	735	7,640
8	大阪	405	4,540
15	兵庫	257	2,200
25	滋賀	53	541
...	兵庫	...	...
...	奈良	...	...
...	和歌山	...	...

資料：令和元年産果樹生産出荷統計

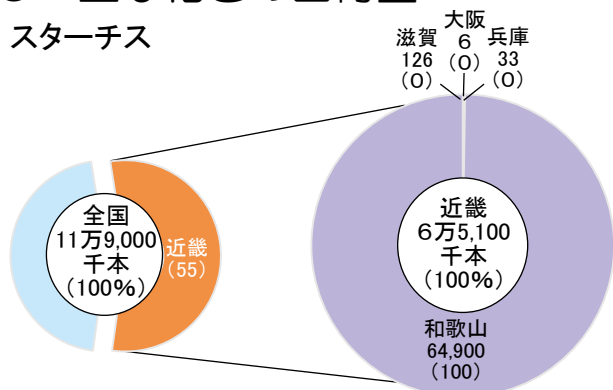
注：1 主産県とは、調査対象品目ごとに、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県並びに、みかんにあっては、果樹需給安定対策事業を実施する都道府県をいう。

2 令和元年産は主産県調査であり、順位は調査該当都道府県に限られる順位である。

⑥ 花き（令和元年産）

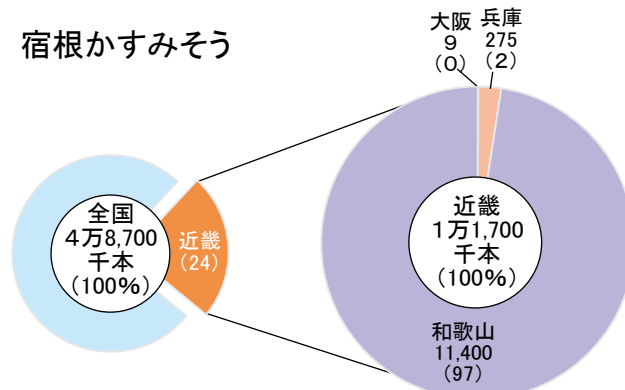
○ 主な花きの出荷量

スターチス



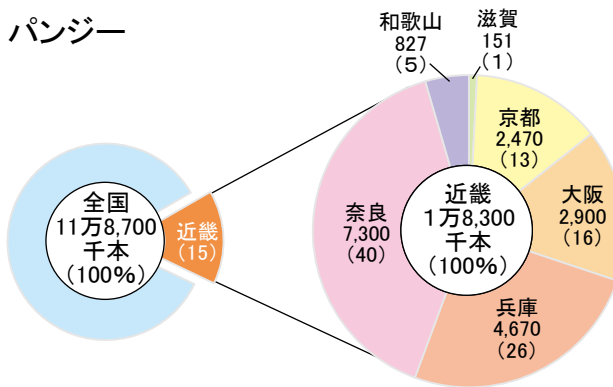
注：京都が秘匿のため、奈良は事実がないため表示していない。

宿根かすみそう

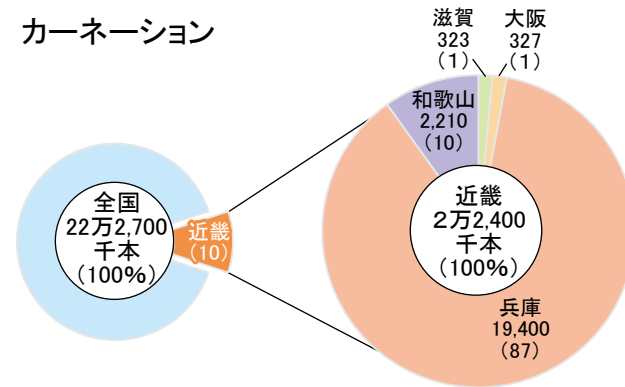


注：滋賀、京都が秘匿のため、奈良は事実がないため表示していない。

パンジー



カーネーション



注：京都が秘匿のため、奈良は事実がないため表示していない。

○ 主な花き

スターチス

全国順位 (出荷量)	都道府県	作付面積	出荷量
		a	千本
1	和歌山	7,160	64,900
2	北海道	5,330	31,900
3	長野	900	8,100
4	千葉	528	3,280
5	熊本	300	1,150
24	滋賀	28	126
32	兵庫	16	33
39	大阪	6	6
-	大京	x	x
-	奈良	-	-

パンジー

全国順位 (出荷量)	都道府県	作付面積	出荷量
		a	千本
1	埼玉	2,080	9,240
2	奈良	1,090	7,300
3	神奈川	2,000	7,240
4	三重	1,320	6,530
5	愛知	1,570	6,330
10	兵庫	691	4,670
16	大阪	540	2,900
18	大京	395	2,470
34	和歌山	148	827
44	滋賀	36	151

宿根かすみそう

全国順位 (出荷量)	都道府県	作付面積	出荷量
		a	千本
1	熊本	7,670	18,600
2	和歌山	2,020	11,400
3	福島	4,930	7,490
4	北海道	1,140	2,920
5	高知	1,000	1,840
12	兵庫	175	275
20	大阪	5	9
-	大京	x	x
-	奈良	x	x
-	奈良	-	-

カーネーション

全国順位 (出荷量)	都道府県	作付面積	出荷量
		a	千本
1	長野	7,900	47,000
2	愛知	4,680	45,200
3	北海道	3,030	19,900
4	兵庫	1,530	19,400
5	千葉	1,750	18,000
16	和歌山	384	2,210
29	大阪	43	327
30	大京	45	323
-	奈良	x	x
-	奈良	-	-

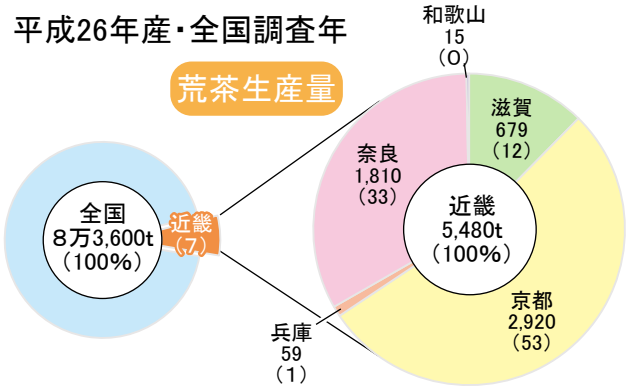
資料：令和元年産花き生産出荷統計

注：1 表記した品目は、全国の出荷量に占める近畿の出荷量の割合が高いものである。

2 全国順位は、秘匿のため公表していない都道府県を除く順位である。

⑦ 茶

平成26年産・全国調査年



令和元年産・主産県調査年

全国順位 (生産量)	都道府県	摘採実面積 ha	荒茶生産量 t
1	静岡県	14,400	29,500
2	鹿児島県	7,960	28,000
3	三重県	2,620	5,910
4	宮崎県	1,160	3,510
5	京都府	1,400	2,900
...	滋賀県	...	...
...	大阪府	...	...
...	兵庫県	...	...
...	奈良県	...	...
...	和歌山県	...	...

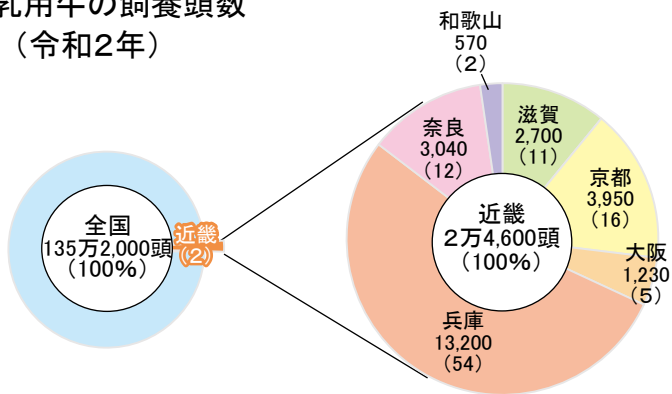
資料：作物統計（普通作物・飼料作物・工芸農作物）

注：1 茶は、6年ごとに全国調査を実施しており、中間年は主産県調査により実施している。グラフには直近の全国調査年である平成26年産の数値を用いた。なお、主産県とは、調査対象品目ごとに、全国栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県、強い農業・担い手づくり総合支援交付金による茶に係る事業を実施する都道府県及び畑作物共済事業を実施し半相殺方式を採用している都道府県をいう。

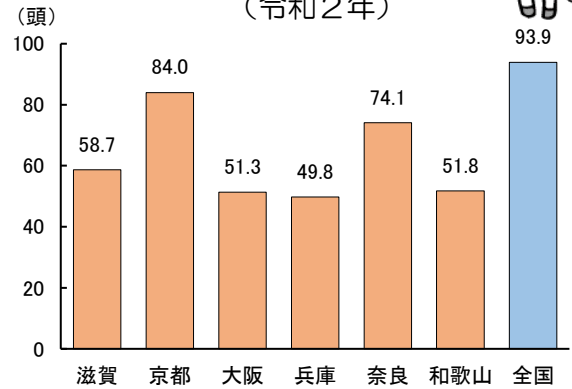
2 令和元年産は主産県調査であり、全国順位は調査該当都道府県に限られる順位である。

⑧ 畜産

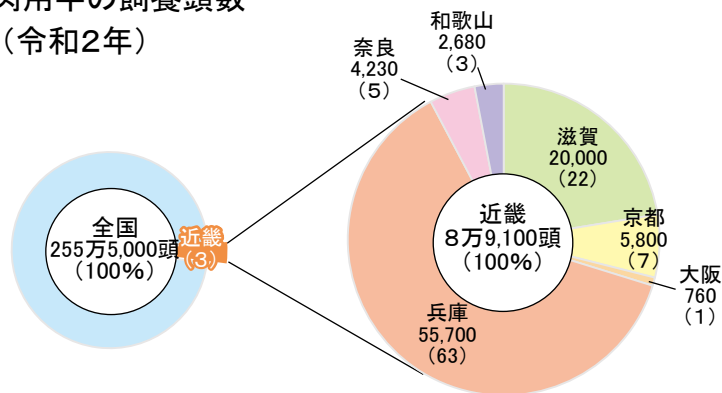
乳用牛の飼養頭数 (令和2年)



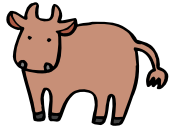
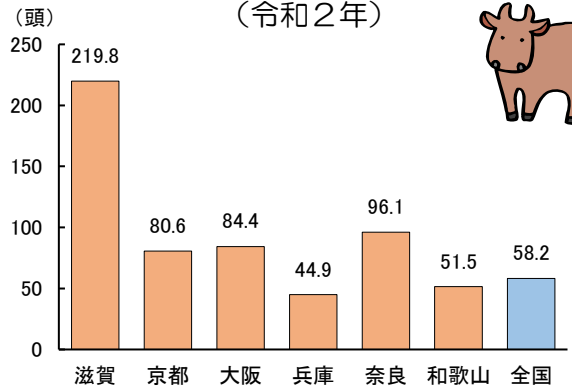
1戸当たり飼養頭数(近畿) (令和2年)



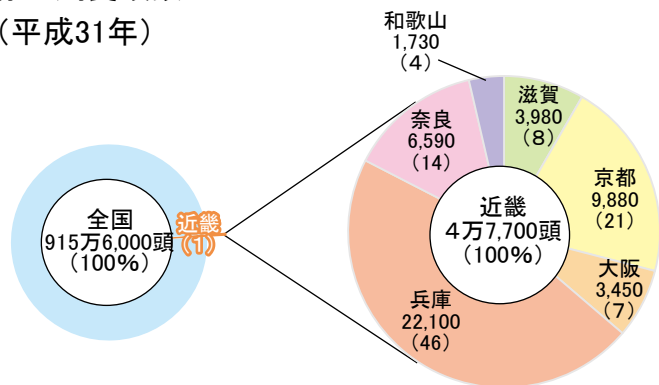
肉用牛の飼養頭数 (令和2年)



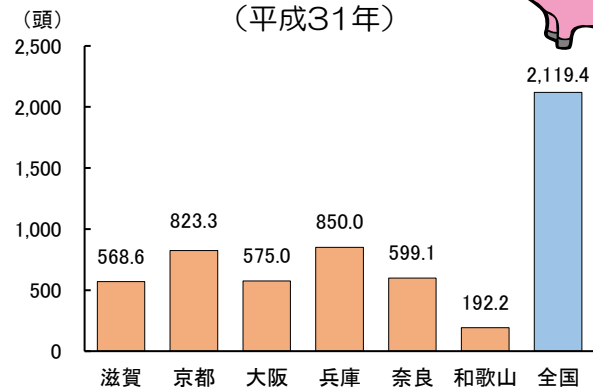
1戸当たり飼養頭数(近畿) (令和2年)



豚の飼養頭数 (平成31年)



1戸当たり飼養頭数(近畿) (平成31年)

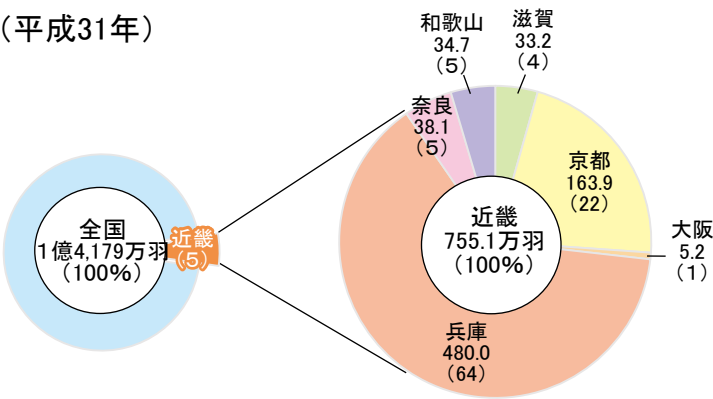


資料：畜産統計

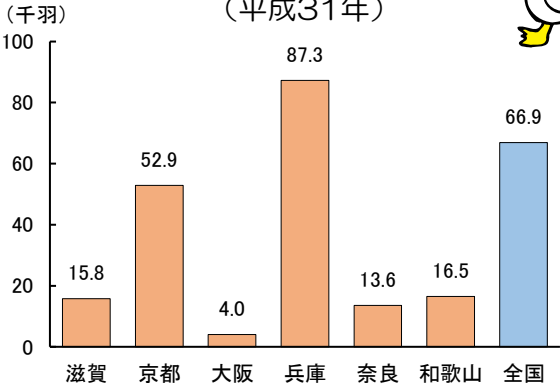
注：1 豚の令和2年は調査休止。

2 各年2月1日現在調査。

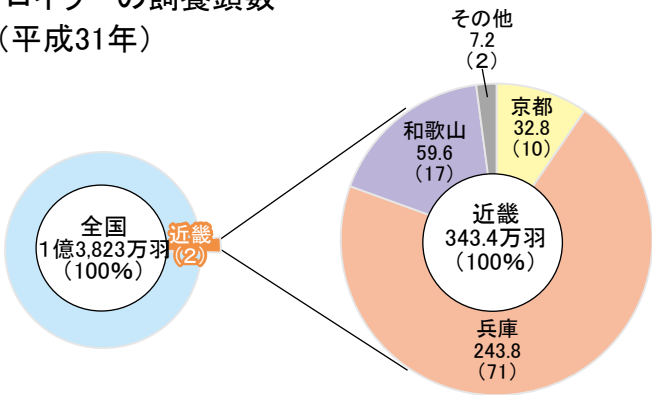
採卵鶏（成鶏めす）の飼養頭数
（平成31年）



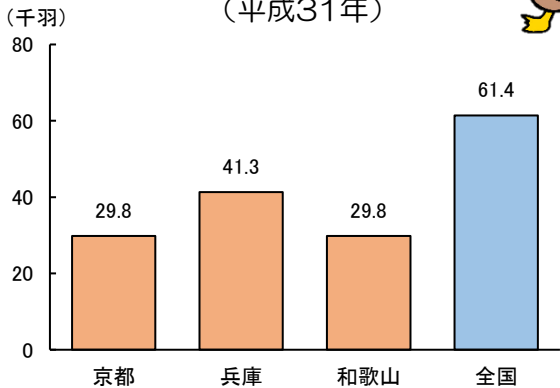
1戸当たり飼養羽数（近畿）
（平成31年）



ブロイラーの飼養頭数
（平成31年）



1戸当たり飼養羽数（近畿）
（平成31年）



注：滋賀、奈良は秘匿のため一括してその他で表示、大阪は事実がないため表示していない。

資料：畜産統計
注：1 採卵鶏（成鶏めす）、ブロイラーの令和2年は調査休止。
2 各年2月1日現在調査。

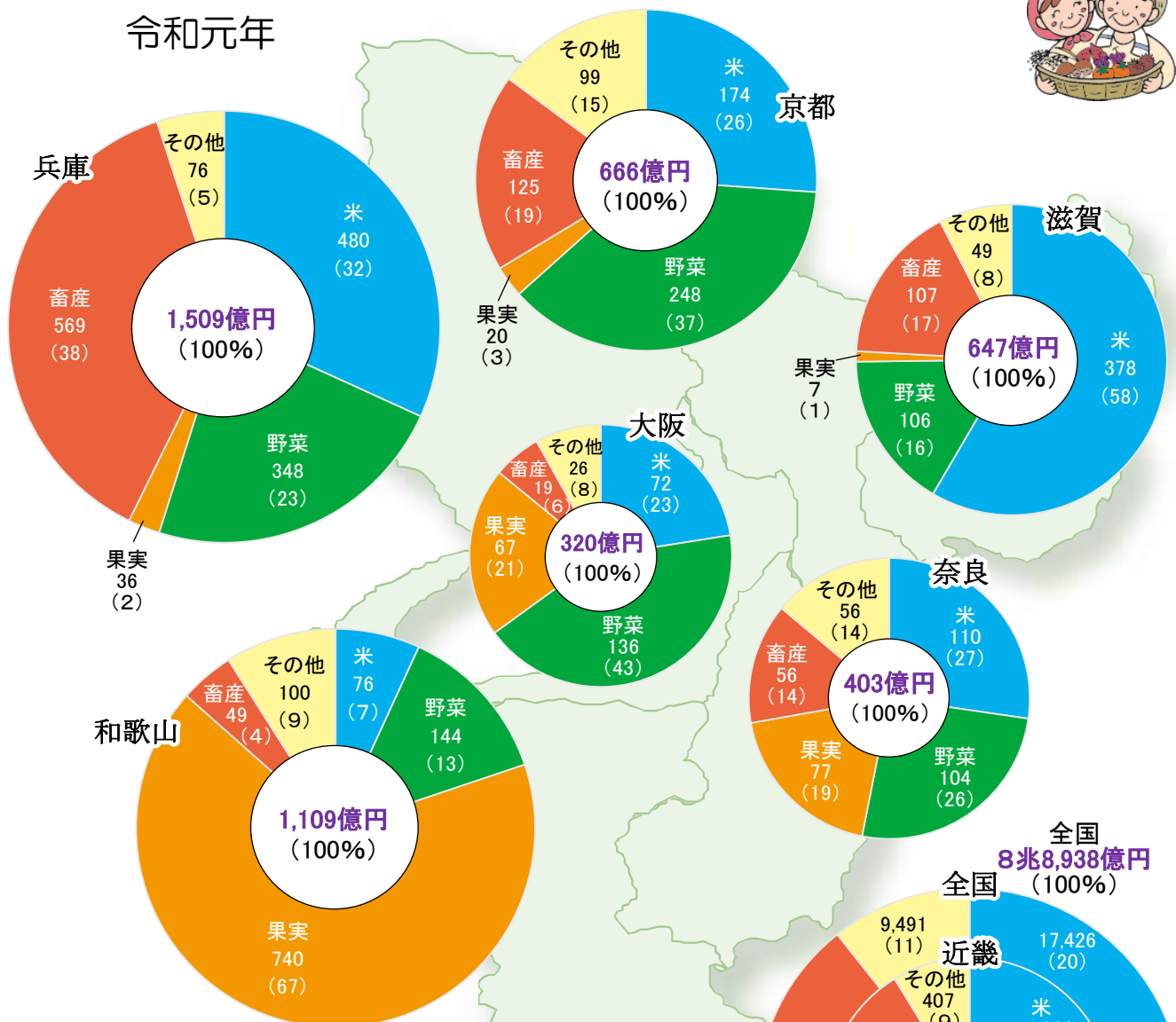
(8) 農業産出額

— 各府県農業の特徴を活かしたバランスのとれた近畿農業 —

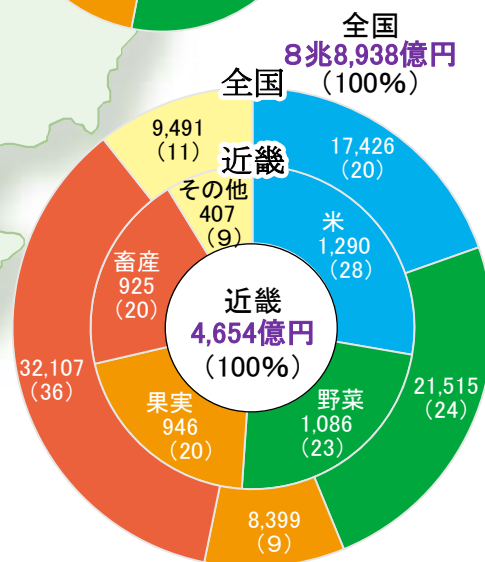
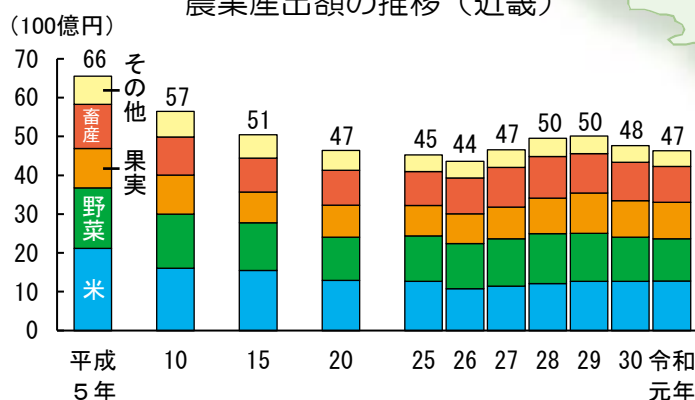
- 近畿では畜産の産出額が多い兵庫が1,509億円で最も多く、次いで和歌山が1,109億円。
- 京都、大阪、奈良は野菜や果実の割合が高い。
- 全国に比べて滋賀は米、和歌山は果実の割合が高い。



令和元年



農業産出額の推移（近畿）



資料：生産農業所得統計

注：1 全国値については農業総産出額である。

2 その他は合計からその他以外を差し引き算出した値である。

○ 府県別産出額トップ10（令和元年）

滋 賀					
順位	農 産 物	産出額	構成比	全国 順位	
	農 業 産 出 額 計	億円	%	位	
		647	100.0	40	
1	米	378	58.4	15	
2	肉 用 牛	63	9.7	29	
3	生 乳	21	3.2	39	
4	大 豆	18	2.8	4	
5	鶏 卵	14	2.2	39	
6	ト マ ト	11	1.7	39	
7	ね ぎ	9	1.4	34	
8	な す	7	1.1	26	
9	い ち じ く	7	1.1	35	
10	き ち ゅ う	7	1.1	36	

京 都					
順位	農 産 物	産出額	構成比	全国 順位	
	農 業 産 出 額 計	億円	%	位	
		666	100.0	37	
1	米	174	26.1	31	
2	鶏 卵	48	7.2	25	
3	茶（生葉）	35	5.3	4	
4	生 乳	34	5.1	32	
5	荒 茶	31	4.7	3	
6	ね ぎ	30	4.5	15	
7	な す	25	3.8	9	
8	ほ う れ ん そ う	22	3.3	11	
9	た け の こ	19	2.9	2	
10	肉 用 牛	16	2.4	37	

上記以外にも
きょうな（みずな） 11億円 2位
小豆 3億円 3位

大 阪					
順位	農 産 物	産出額	構成比	全国 順位	
	農 業 産 出 額 計	億円	%	位	
		320	100.0	46	
1	米	72	22.5	43	
2	ぶ ど う	41	12.8	6	
3	ね ぎ	29	9.1	16	
4	な す	21	6.6	10	
5	み か ん	16	5.0	19	
6	し ゅ ん ぎ く	14	4.4	3	
7	生 乳	12	3.8	44	
8	ト マ ト	7	2.2	45	
9	こ ま つ な ぎ	7	2.2	10	
10	い ち	6	1.9	36	

上記以外にも
ふき 3億円 2位

兵 庫					
順位	農 産 物	産出額	構成比	全国 順位	
	農 業 産 出 額 計	億円	%	位	
		1,509	100.0	22	
1	米	480	31.8	12	
2	肉 用 牛	169	11.2	10	
3	鶏 卵	152	10.1	12	
4	生 乳	95	6.3	13	
5	ブ ロ イ ラ ー	81	5.4	8	
6	た ま ね ぎ	76	5.0	3	
7	レ タ ス	54	3.6	3	
8	ひな（他都道府県販売）	25	1.7	3	
9	ト マ ト	24	1.6	25	
10	も や し	22	1.5	4	

上記以外にも
小豆 5億円 2位

奈 良					
順位	農 産 物	産出額	構成比	全国 順位	
	農 業 産 出 額 計	億円	%	位	
		403	100.0	45	
1	米	110	27.3	41	
2	か き	58	14.4	2	
3	生 乳	28	6.9	35	
4	い ち じ く	27	6.7	18	
5	ほ う れ ん そ う	16	4.0	17	
6	き く	12	3.0	8	
7	な す	12	3.0	18	
8	肉 用 牛	11	2.7	43	
9	鶏 卵	9	2.2	44	
10	ぶ ど う	7	1.7	30	

和 歌 山					
順位	農 産 物	産出額	構成比	全国 順位	
	農 業 産 出 額 計	億円	%	位	
		1,109	100.0	29	
1	み か ん	276	24.9	1	
2	う め	222	20.0	1	
3	か き	78	7.0	1	
4	米	76	6.9	42	
5	も も	45	4.1	5	
6	は っ さ く	37	3.3	1	
7	さやえんどう（未成熟）	27	2.4	2	
8	ト マ ト	22	2.0	27	
9	ス タ ー チ ス	19	1.7	1	
10	い ち じ く	16	1.4	28	

上記以外にも
うめぼし 5億円 1位
いちじく 12億円 2位
清見 8億円 2位
キウイフルーツ 11億円 3位
すもも 10億円 3位
カスミソウ 5億円 3位
ししとう 3億円 3位

資料：令和元年生産農業所得統計

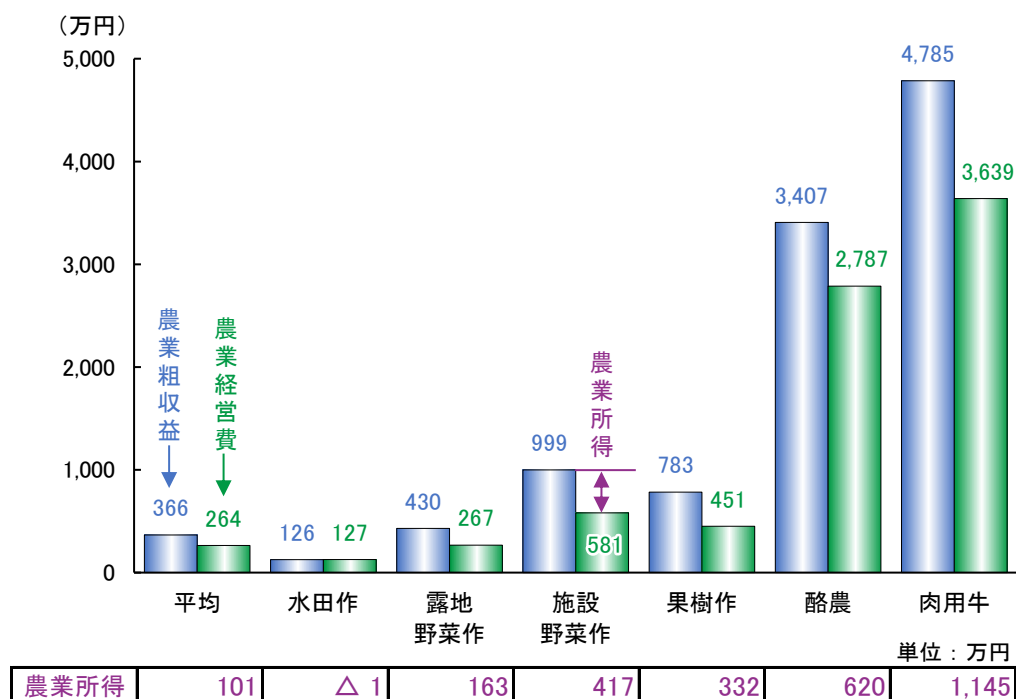
注：1 都道府県ごとに推計を行っている農産物が異なることから全国順位は推計を行った都道府県のみを対象とした順位であり、また、秘匿のため公表されていない都道府県を除いた順位である。

(9) 農業経営

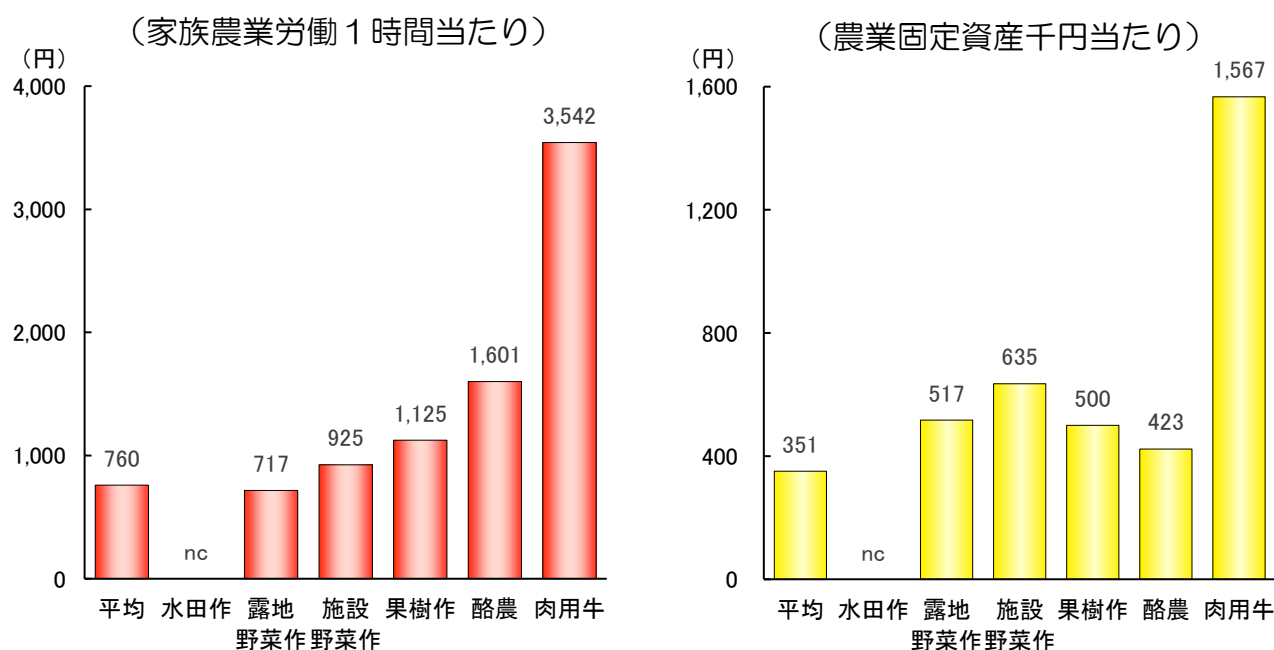
— 近畿の個別経営の1経営体当たり農業所得は101万円 —

- 農業所得は肉用牛、酪農、施設野菜の順で多い。
- 農業所得を家族農業労働1時間当たり及び農業固定資産千円当たりでみても肉用牛が最も高い。

個別経営の経営収支（平成30年・営農類型別・1経営体当たり・近畿）



個別経営の農業所得（平成30年・営農類型別・単位当たり・近畿）



資料：平成30年経営形態別経営統計（個別経営）、平成30年営農類型別経営統計（個別経営）
 注：1 「平均」は、営農類型別（水田作～肉用牛）とそれ以外の経営を加重平均したものである。
 2 「△」は負数を、「nc」は計算不能を表す記号である。

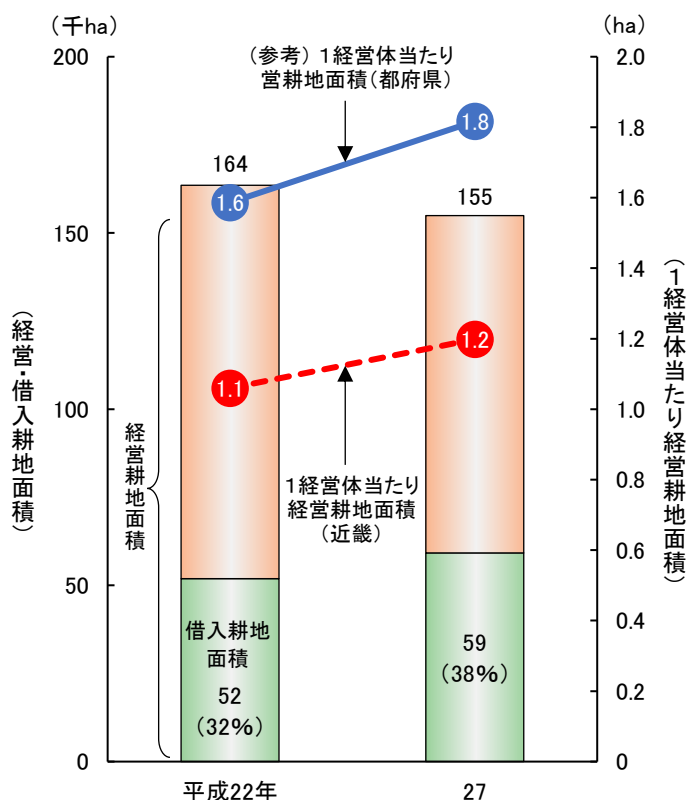
3 近畿農業のうごき

(1) 経営耕地面積規模の拡大

— 近畿の1経営体当たりの経営耕地面積は120a、5年間で13%増加 —

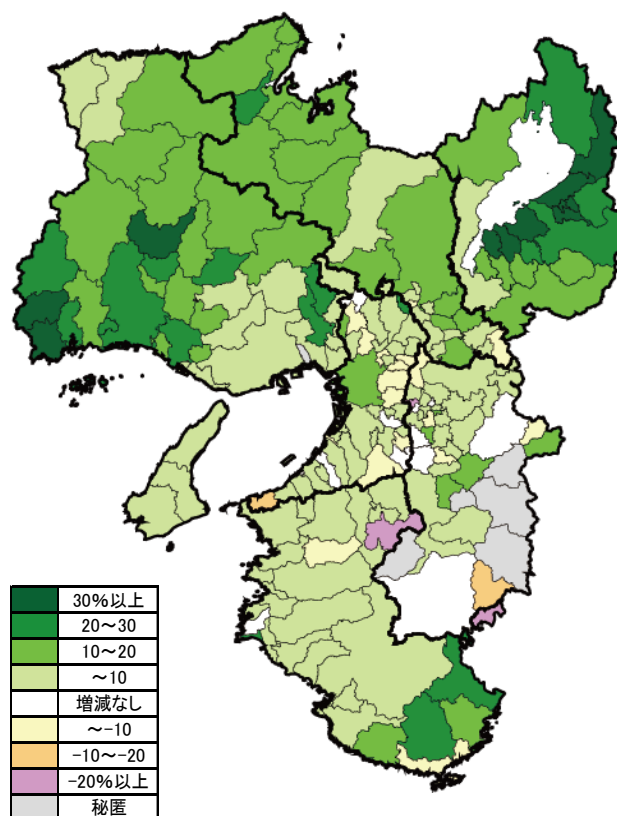
- 借入耕地面積は、5年間で13%増加。
- 自給的農家や土地持ち非農家の貸付耕地面積が増加。
- 経営耕地の面積規模が大きい階層で農業経営体数及び経営耕地面積が増加。

農業経営体の経営・借入耕地面積及び1経営体当たりの経営耕地面積の推移（近畿）

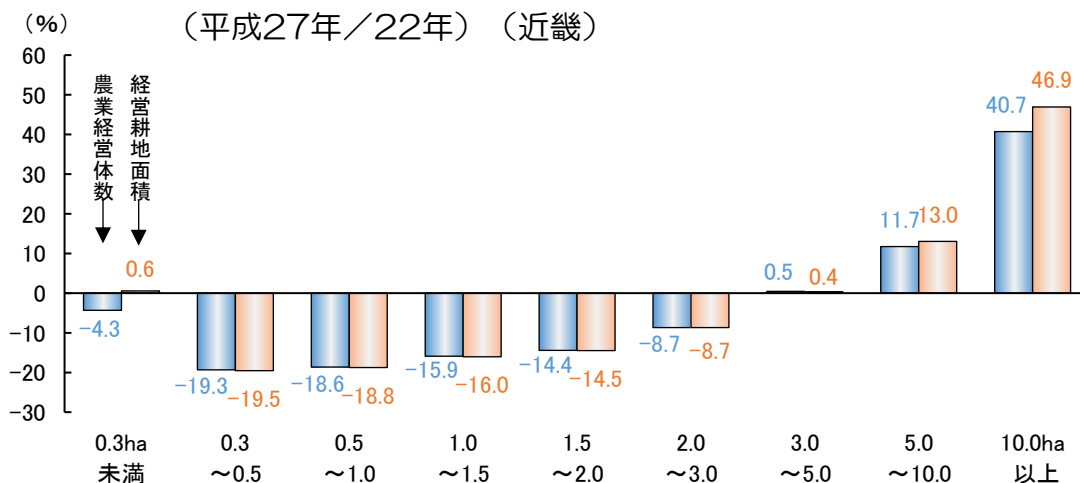


注：（ ）内は経営耕地面積に占める割合である。

1経営体当たり経営耕地面積の増減率（市町村別）（平成27年／22年）



経営耕地面積規模別の農業経営体数及び経営耕地面積の増減率（平成27年／22年）（近畿）



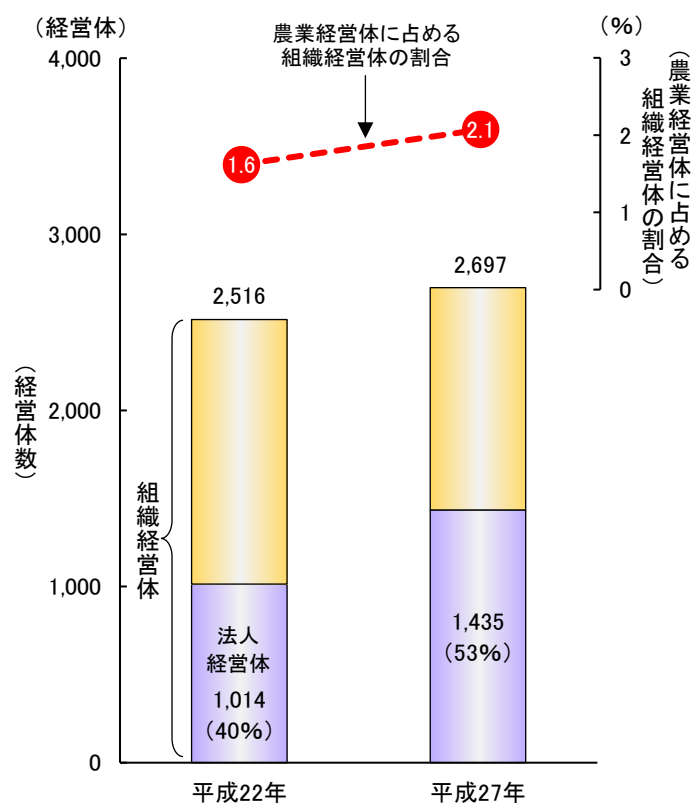
資料：農林水産省「農林業センサス」

(2) 増加する組織経営体

— 近畿の組織経営体は2,697経営体で5年間で7%増加 —

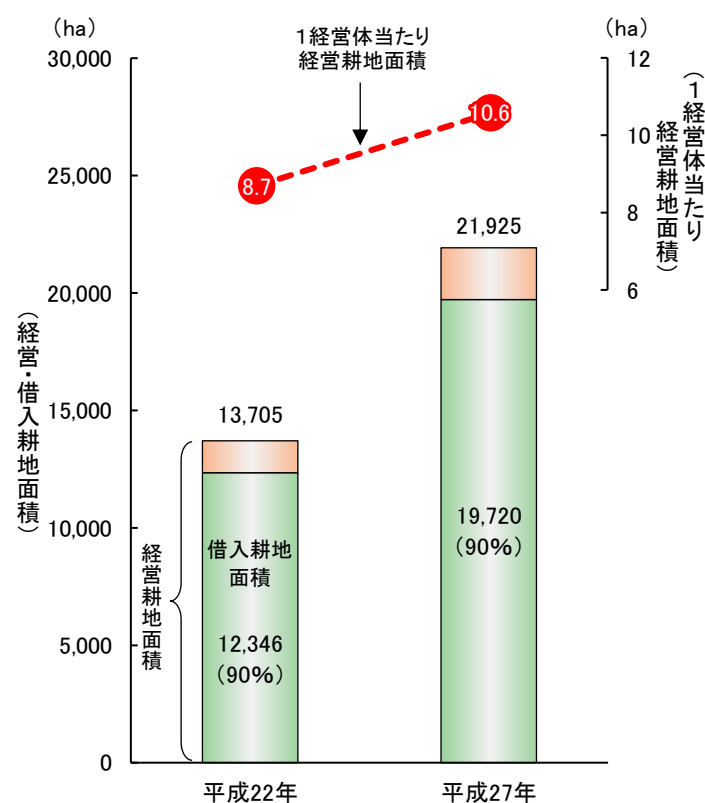
- 組織経営体の1経営当たり経営耕地面積は10.6haで、5年間に1.9ha(22%)増加。
- 経営体数、経営耕地面積の過去5年の増減率は、ともに10ha以上の階層で最も増加率が高い。

組織経営体数の推移（近畿）



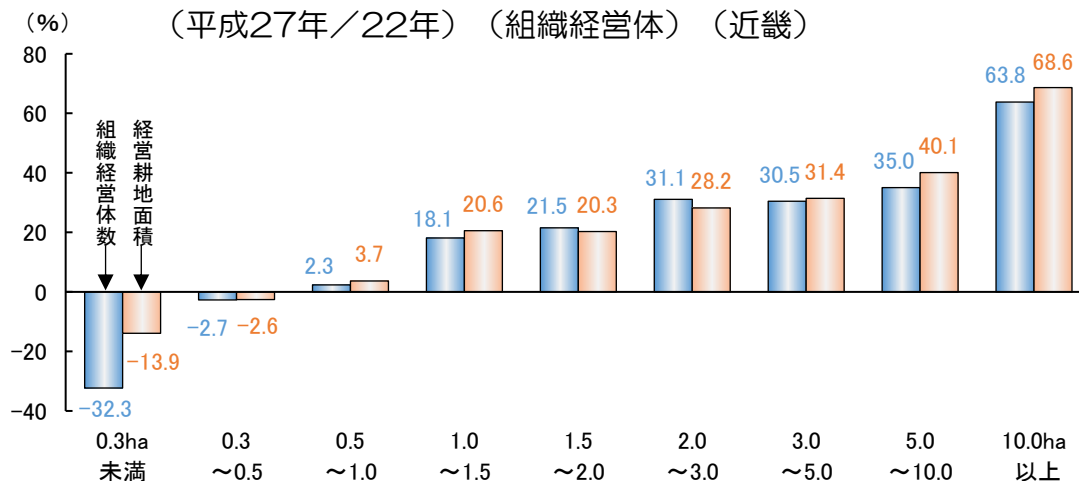
注：1 () 内は団体経営体に占める割合である。
2 平成27年は組替集計した数値である。

組織経営体の経営・借入耕地面積及び1経営体当たりの経営耕地面積の推移（近畿）



注：() 内は経営耕地面積に占める割合である。

経営耕地面積規模別の農業経営体数及び経営耕地面積の増減率（平成27年/22年）（組織経営体）（近畿）

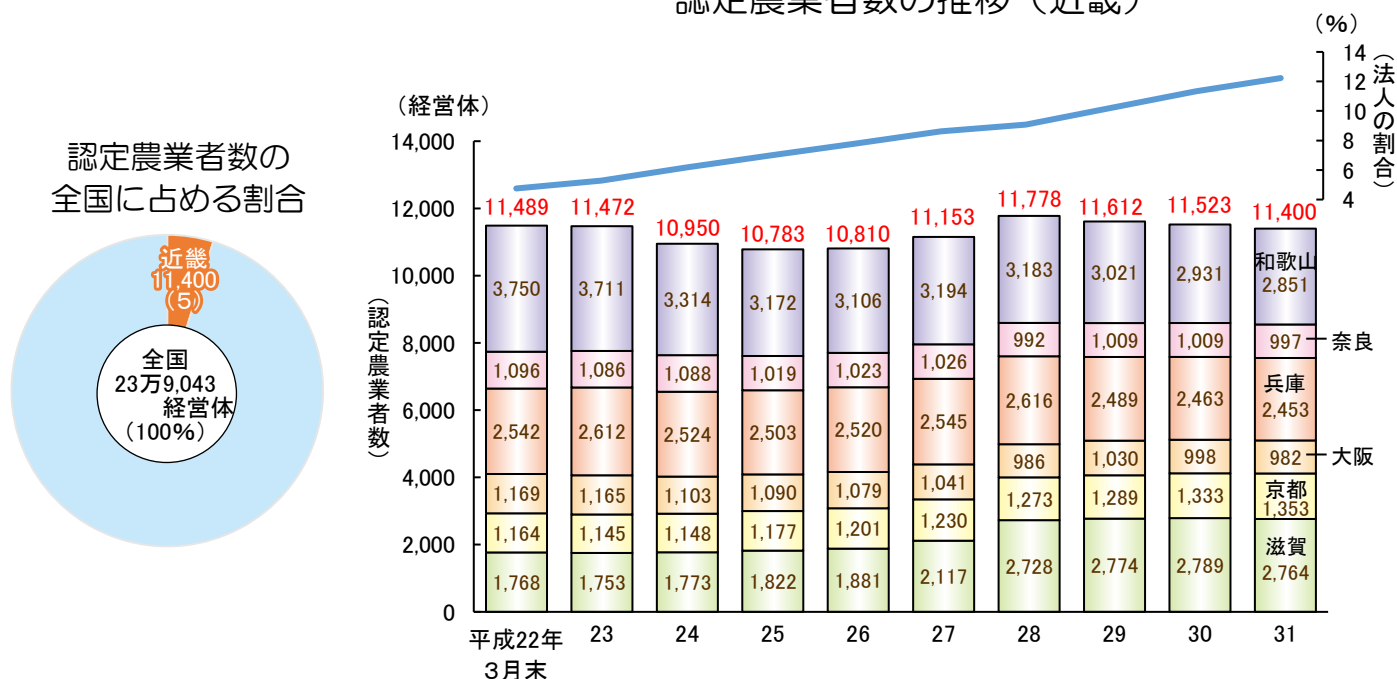


(3) 近畿農業を担う認定農業者

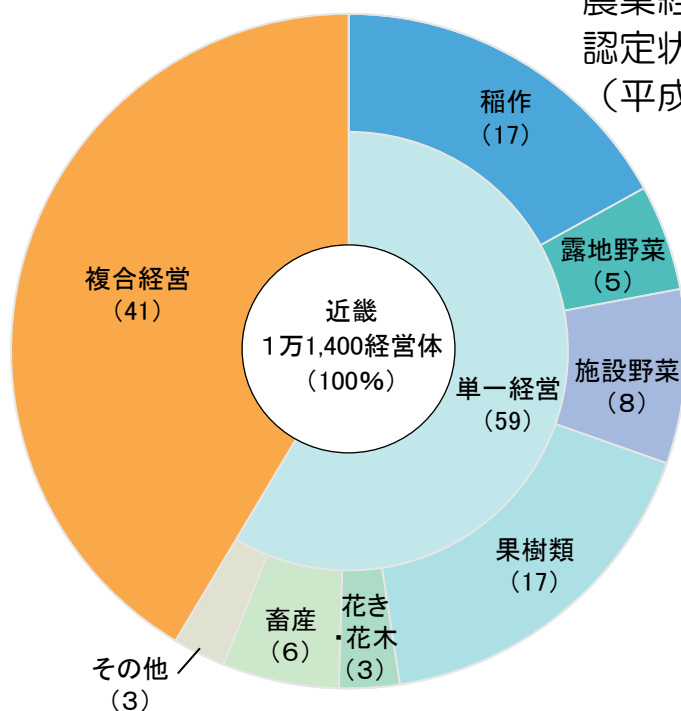
— 認定農業者数に占める法人の割合が増加 —

- 近畿の認定農業者数は1万1,400経営体（全国の5％）。
- 和歌山、兵庫、滋賀の3県で近畿の7割。

認定農業者数の推移（近畿）



農業経営改善計画の営農類型別認定状況
（平成31年3月末現在）

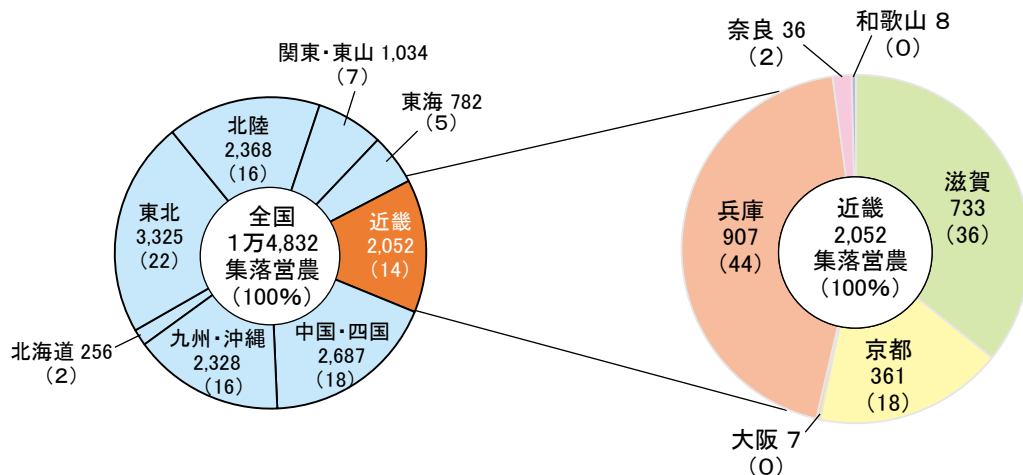


(4) 集落営農化の動向と活動状況

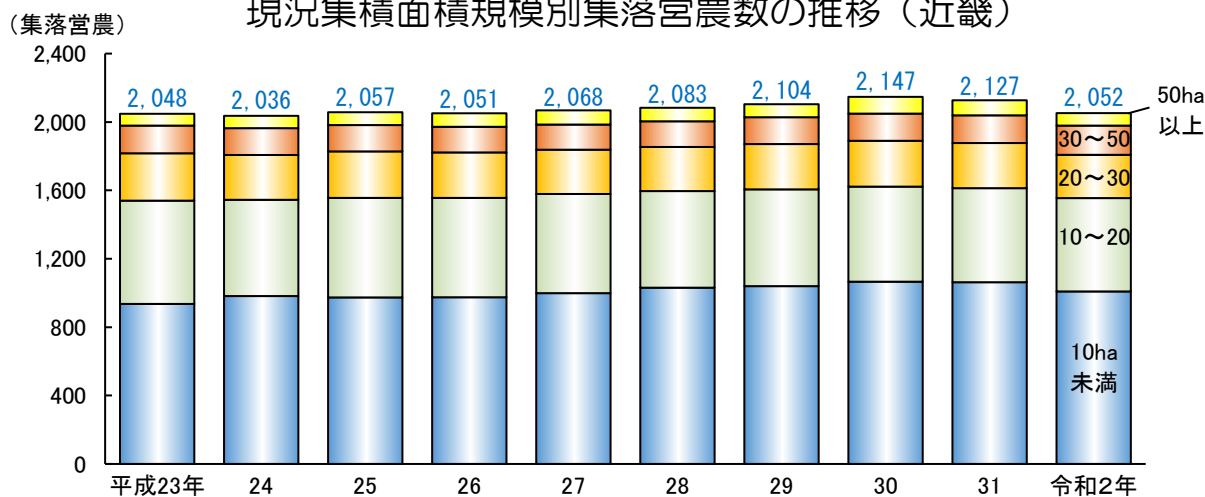
— 集落営農数は、兵庫が全国第1位、滋賀が同6位 —

- 近畿の集落営農数は2,052集落営農（全国の14%）。
- 兵庫（907集落営農）、滋賀（733集落営農）の2県で近畿の8割。
- 集落営農の活動は水稻、麦、大豆の生産・販売や機械の共同所有・利用などが主。

農業地域・府県別の集落営農数及び割合（令和2年）

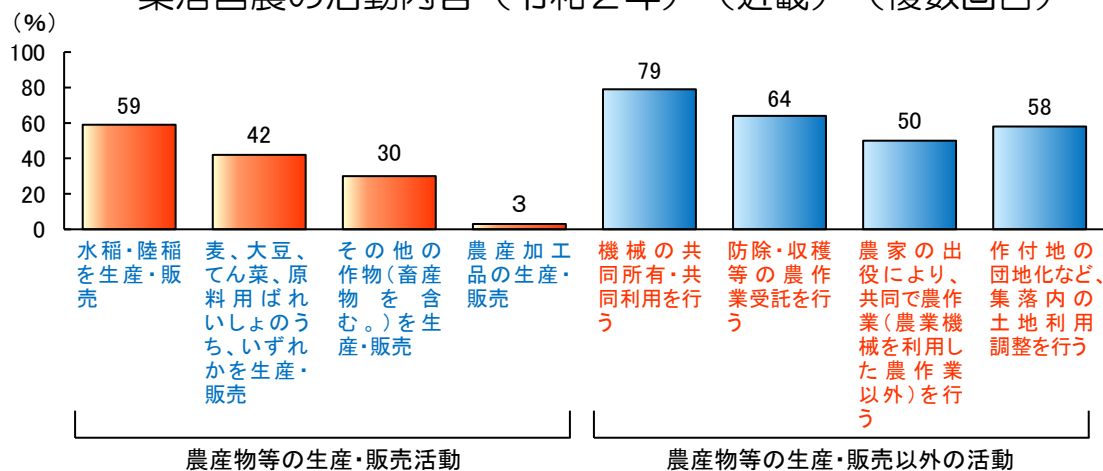


現況集積面積規模別集落営農数の推移（近畿）



注：現況集積面積とは、経営耕地面積と農作業受託面積の計である。

集落営農の活動内容（令和2年）（近畿）（複数回答）



資料：集落営農実態調査報告書